

# Fusion Team 概要

オートデスク株式会社  
製造業ビジネス戦略&マーケティング部  
Fusion 360 テクニカル スペシャリスト  
草野多恵



# Fusion Team

Fusion Team は、Fusion 360による設計データを管理するクラウド上のスペースで、複数メンバーによる共同作業をスムーズに行うことができます。

Fusion Teamは、Webブラウザ上でFusion 360データを管理するワークスペースです。



 | Autodesk TK Team

すべて | **自分が所有者** | 自分と共有 | アーカイブ

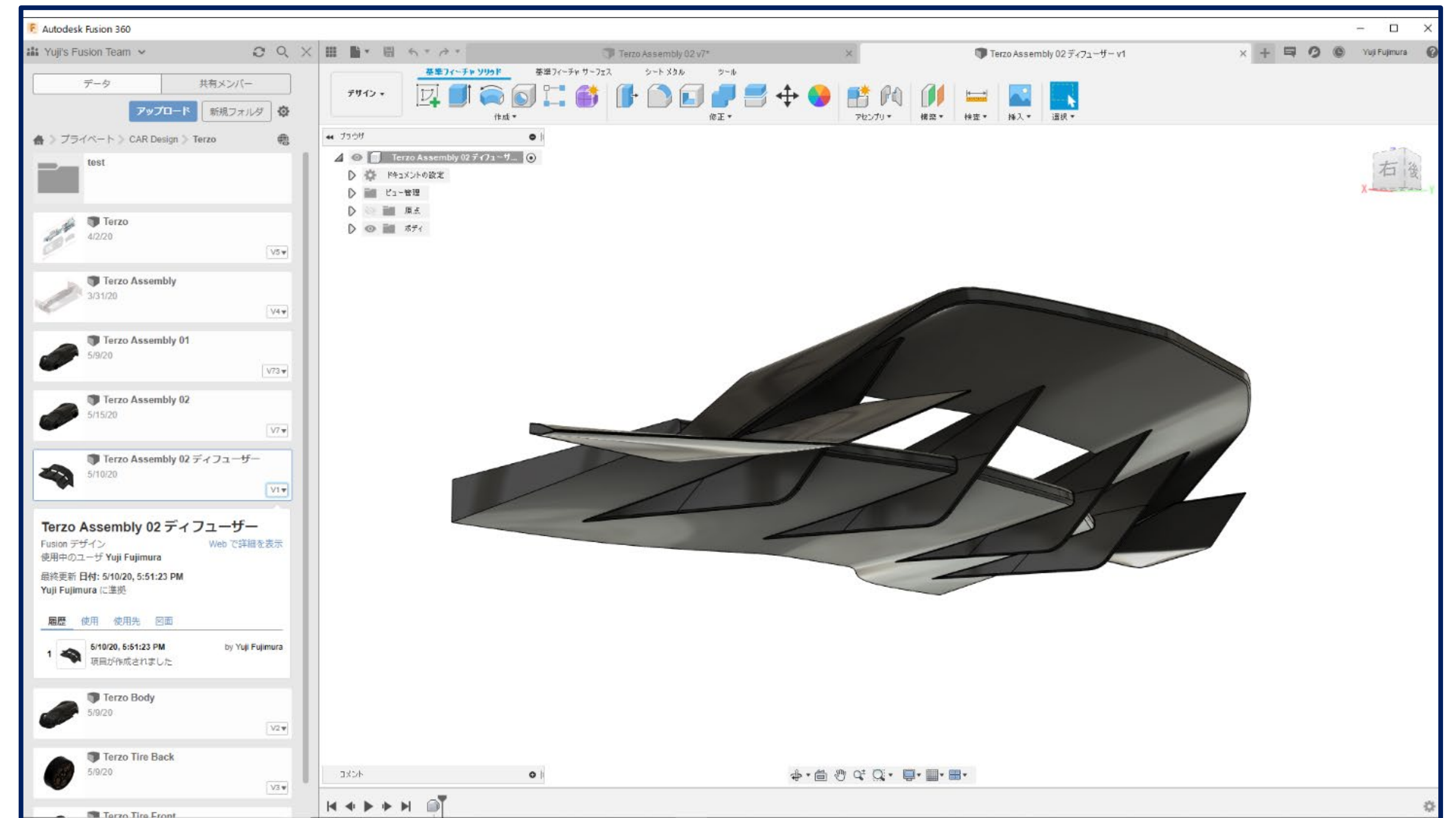
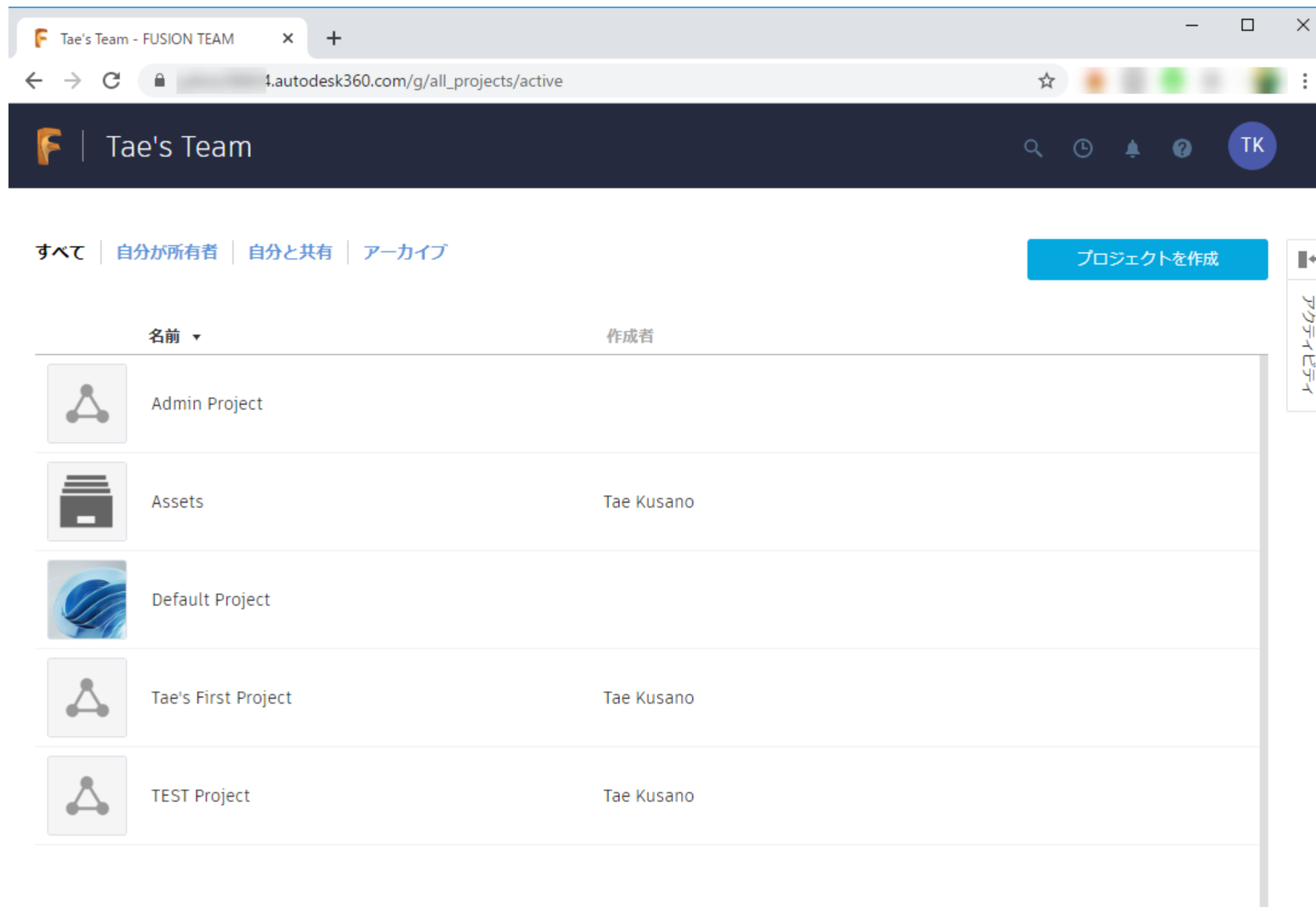
プロジェクトを作成

	名前 ▼	作成者	作成日
	Admin Project		11月-19-2019
	Assembly practice	Tae Kusano	11月-12-2015
	Assets	Tae Kusano	11月-19-2019
			

アクティビティ

# Webブラウザ上でFusion 360のデータを管理？

Fusion 360 は、ソフトウェアとWebブラウザの2ヶ所からアクセスできます。



ウェブブラウザ



インストールしたソフトウェア

# Fusion Teamでできること



仕事を「プロジェクト」単位で分類し、必要なメンバー間で設計データを共有して管理することができます。


## 1. メンバーの管理

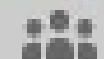
## 2. 設計データの共有と管理

※ 単独で使用することも可能です。

※ Fusion Team 機能は商用版、スタートアップ、学生/教育機関版の方がご利用いただけます。(体験版ご使用中もOK)

(個人用ライセンスでご使用の方は、Fusion Team機能をご使用いただけません。)

 Autodesk Fusion 360 (個人用 - 商用利用不可)

 JSW Team ▼

自分がメンバーになっているチーム



# チームはどうやって作るのか？

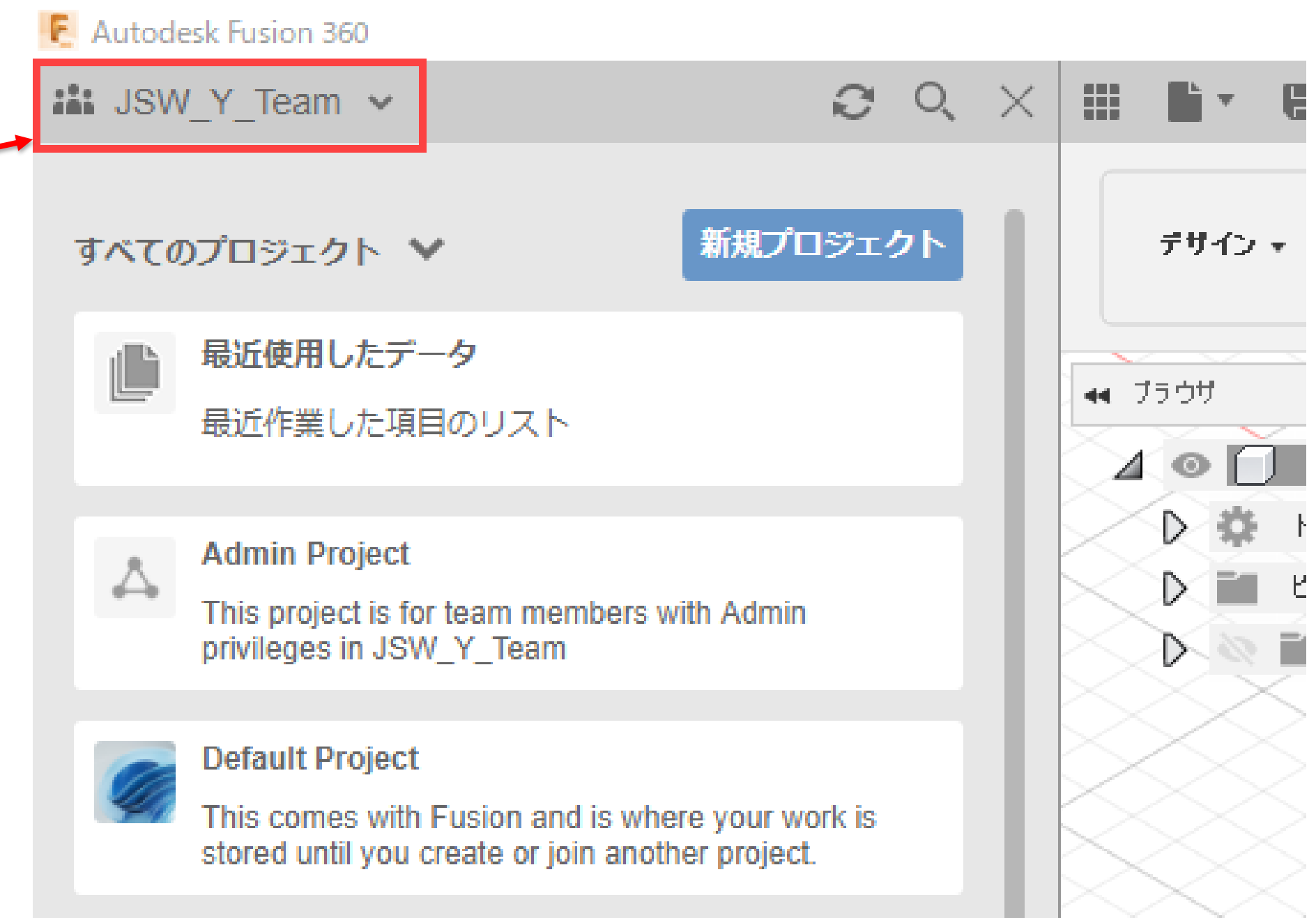
初めてFusion 360を起動した時に、左側の画面が表示された場合は、  
ここで決定した名称で、ご自身が所有するチームが作成されます。  
(名称は設定ページで変更可能です)

Tae 様、Fusion 360 へようこそ

チームの名前を入力してください。これは、メンバーをチームに招待したときにメンバーに表示される名前です。お客様はチームの最初のメンバーになり、他のメンバーが参加するまで誰もお客様のデータを表示することはできません。

チーム名を入力

戻る 次へ



※ この状態になるのは、2019年9月以降にFusion 360に登録された方です。

# 参考：新規利用開始ユーザーのチーム作成画面遷移

(1)

Tae 様、Fusion 360 へようこそ

Fusion 360 では、すべてがチーム内で行われます。チームはコラボレート環境であり、デザイン データを保存したり、独自または他の共同作業者と一緒に作業することができます。

自分がチームの唯一のメンバーであるか、コラボレートしているかに関係なく、常にデータを管理し、データにアクセスできるメンバーを定義できます。



次へ

(2)

Tae 様、Fusion 360 へようこそ

チームを作成するか、管理者が発見可能にしたチームに参加することができます。

電子メール アドレスが公的機関または教育機関に属している場合、通常は独自のチームを作成して独自の作業環境をコントロールするのが最善です。

チームを作成

チーム管理者になり、すべてのデータをコントロールします。常に他のメンバーを招待してコラボレートできます。

企業に属している場合、通常はチームに参加して、同僚とコラボレートするのが最善です。

既存のチームに参加

hl-works.com には参加できるチームがありません。詳細は、Fusion 360 管理者に確認してください。

戻る

(3)

Tae 様、Fusion 360 へようこそ

チームの名前を入力してください。これは、メンバーをチームに招待したときにメンバーに表示される名前です。お客様はチームの最初のメンバーになり、他のメンバーが参加するまで誰もお客様のデータを表示することはできません。

チーム名を入力

戻る

次へ

(4)

Tae 様、Fusion 360 へようこそ

hl-works.com の他のメンバーがチームを自動的に発見できるようにすることができます。hl-works.com の電子メール アドレス(たとえば、john.smith@hl-works.com)を持っているユーザは誰でもチームを発見し、事前承認を必要とせずに参加することができます。

このオプションは、従業員に独自のチームを作成させるのではなく、既存のチームに参加させたい組織に適します。この設定は、「[Fusion Team の基本設定](#)」でいつでも変更できます。

☐ 発見を許可しない

hl-works.com の他のメンバーに、お客様のチームを発見することを許可しません。各チームのメンバーを手動で招待する必要があります。

☐ 発見と自動参加を許可

お客様のチームを発見可能にし、hl-works.com のメンバーの自動参加を許可します。

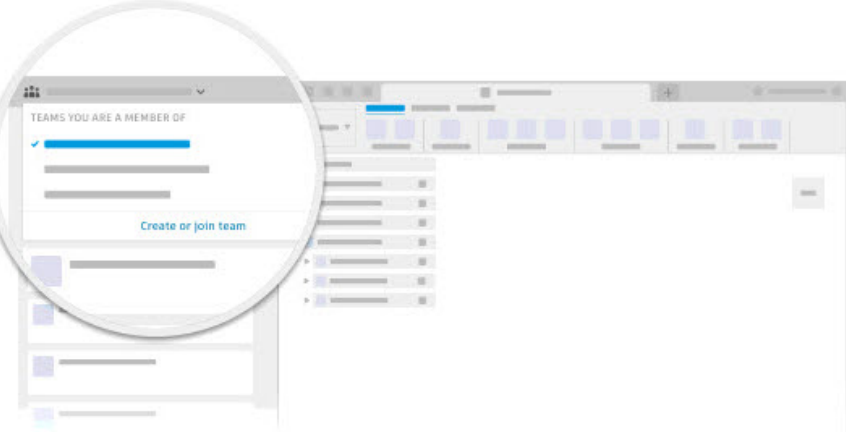
戻る

作成

(5)

TK HL Team の使用準備が完了しました。

いつでも、データ パネルのドロップダウン メニューを使用して、他のチームを作成または参加したり、チームを切り替えたりすることができます。

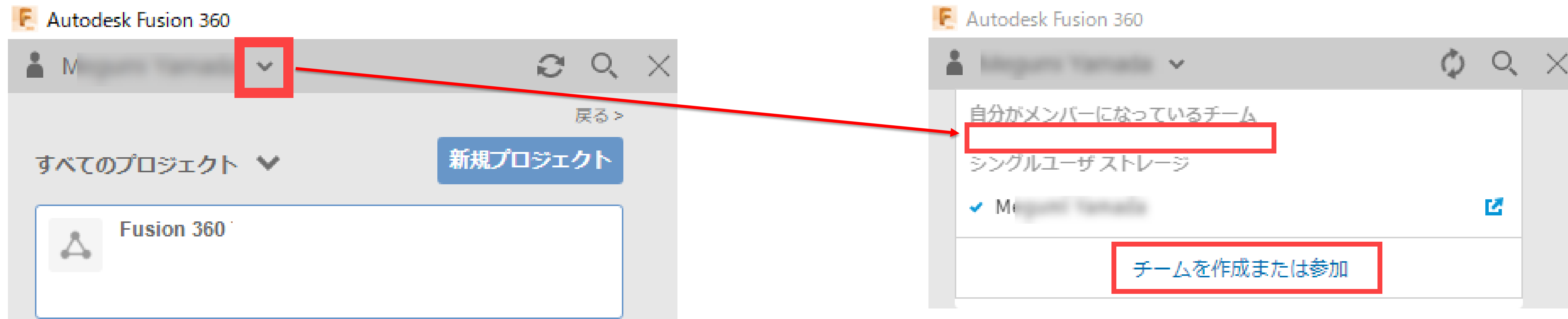


作成したチーム名

移動先チーム

# チームはどうやって作るのか？

既に使い始めている方の場合、データパネル上部をクリックして展開して確認します。



※「自分がメンバーになっているチーム」が空欄の場合はまだチームを作成していないので、「チームを作成または参加」をクリックし、前のページと基本的に同じ要領でチームを作成できます。

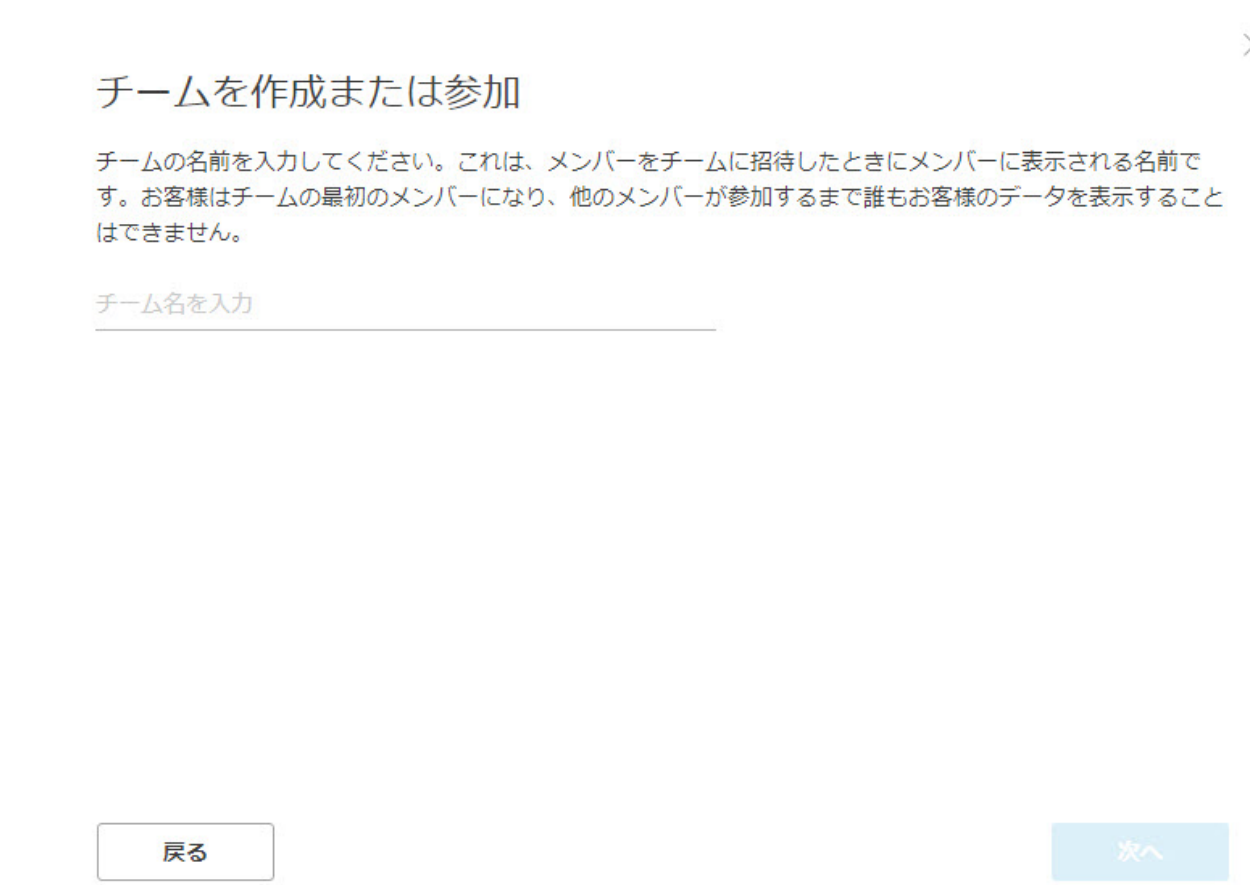


# 参考: シングルユーザーストレージしか持っていない人が 新規にチームを作成する画面遷移

(1)



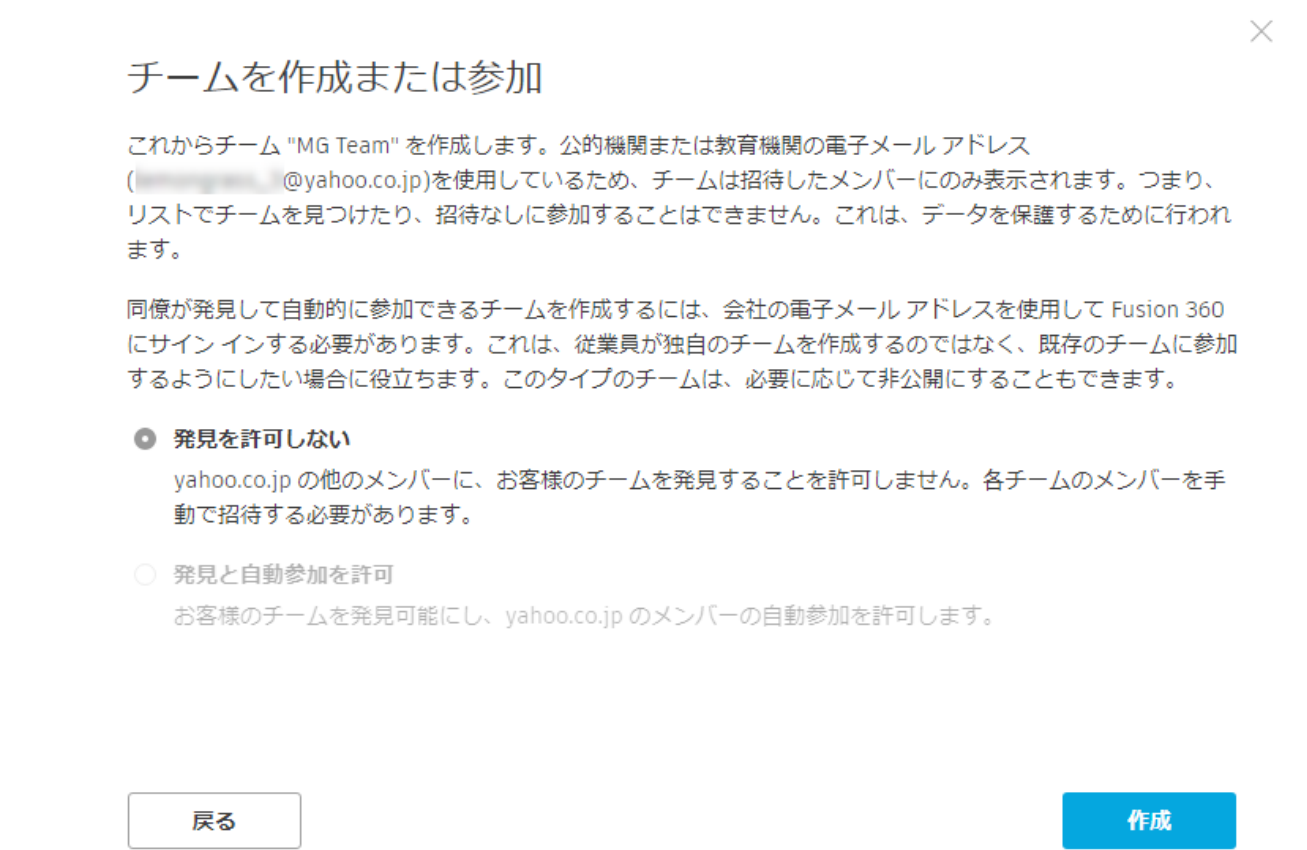
(3)



(2)



(4)





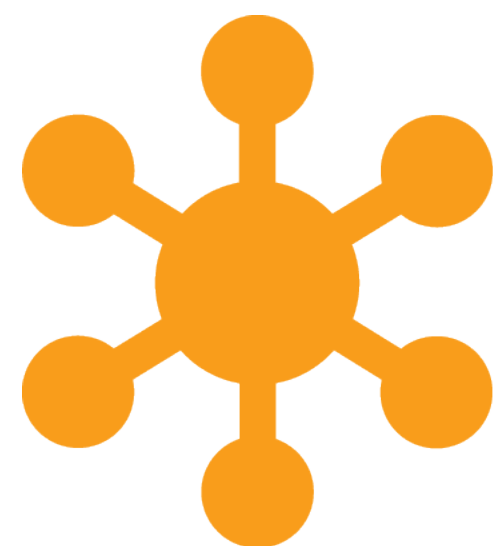
# チームを理解しよう：基本編

# チームを理解するためのキーワード



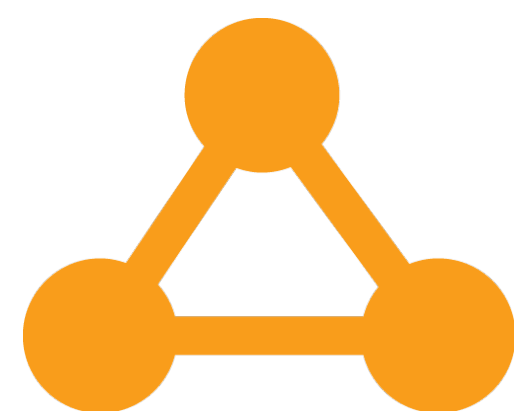
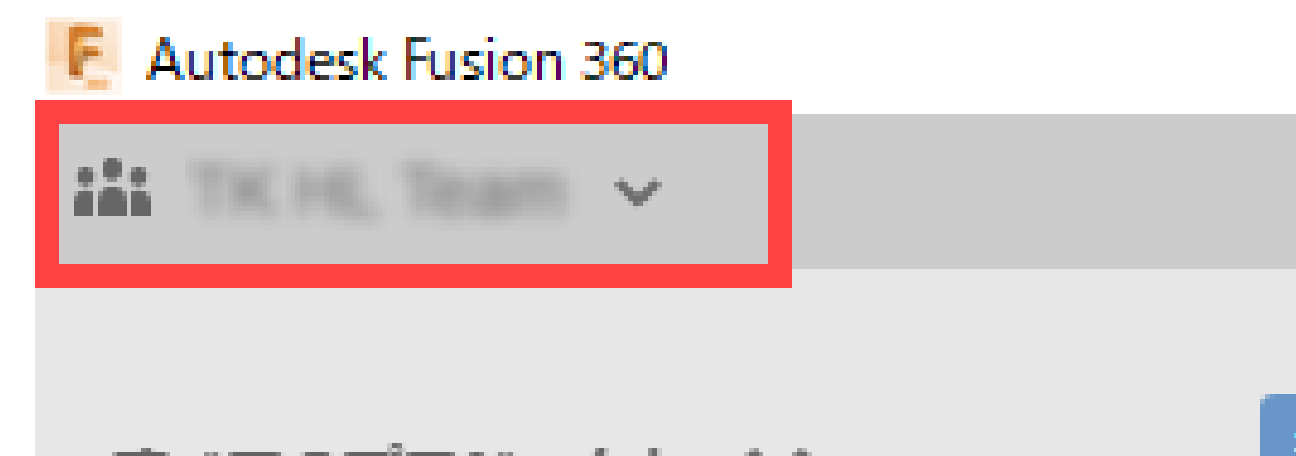
## Fusion Team:

ユーザーごとに割り当てられているクラウド ワークスペース



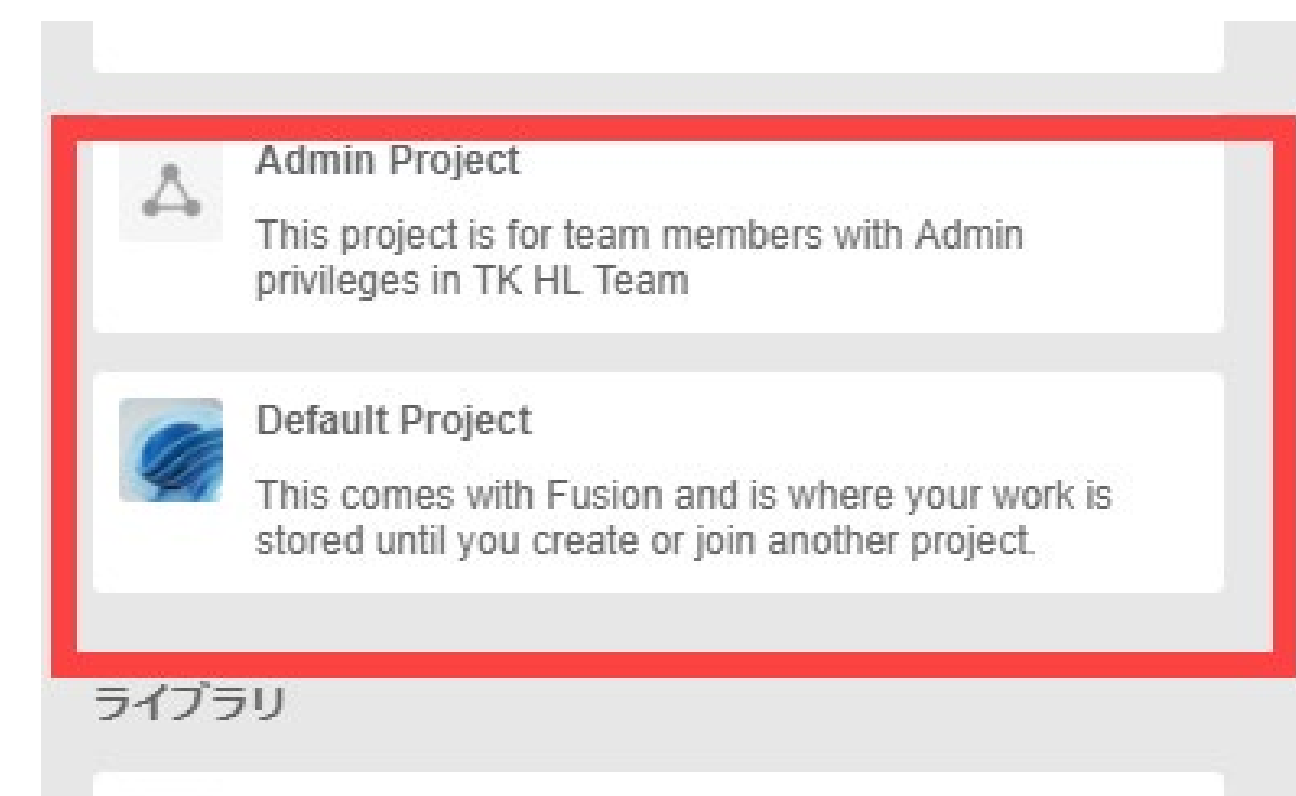
## チーム(チームハブ):

クラウド ワークスペース内に設定できる作業エリア



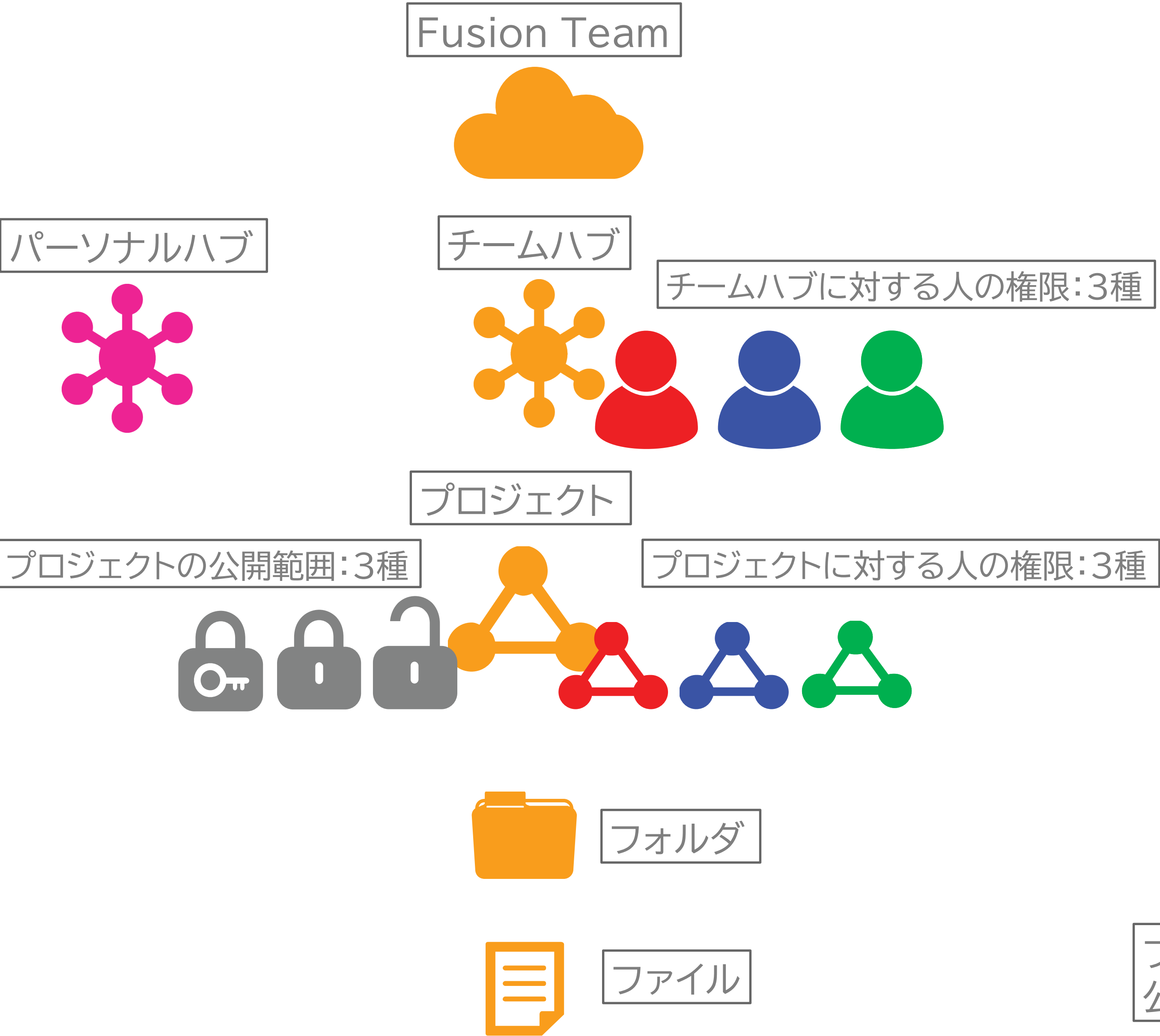
## プロジェクト:

共同作業のための共有作業スペース※  
ファイルはこの中に保存し、運用する

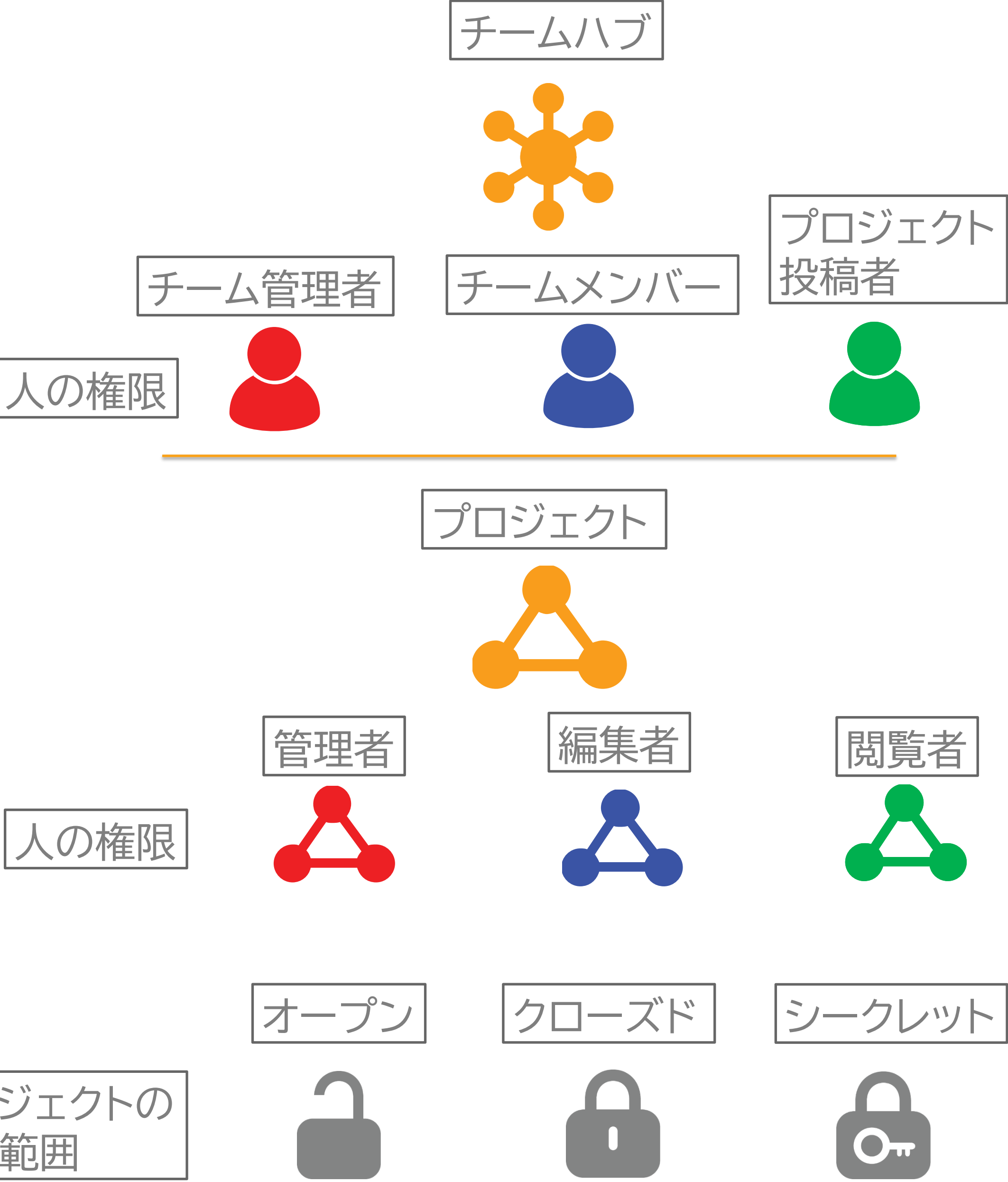


※ ファイルを保存する場所が「プロジェクト」内なので、共同作業が必要ない場合は一人で使用することももちろん可能です。

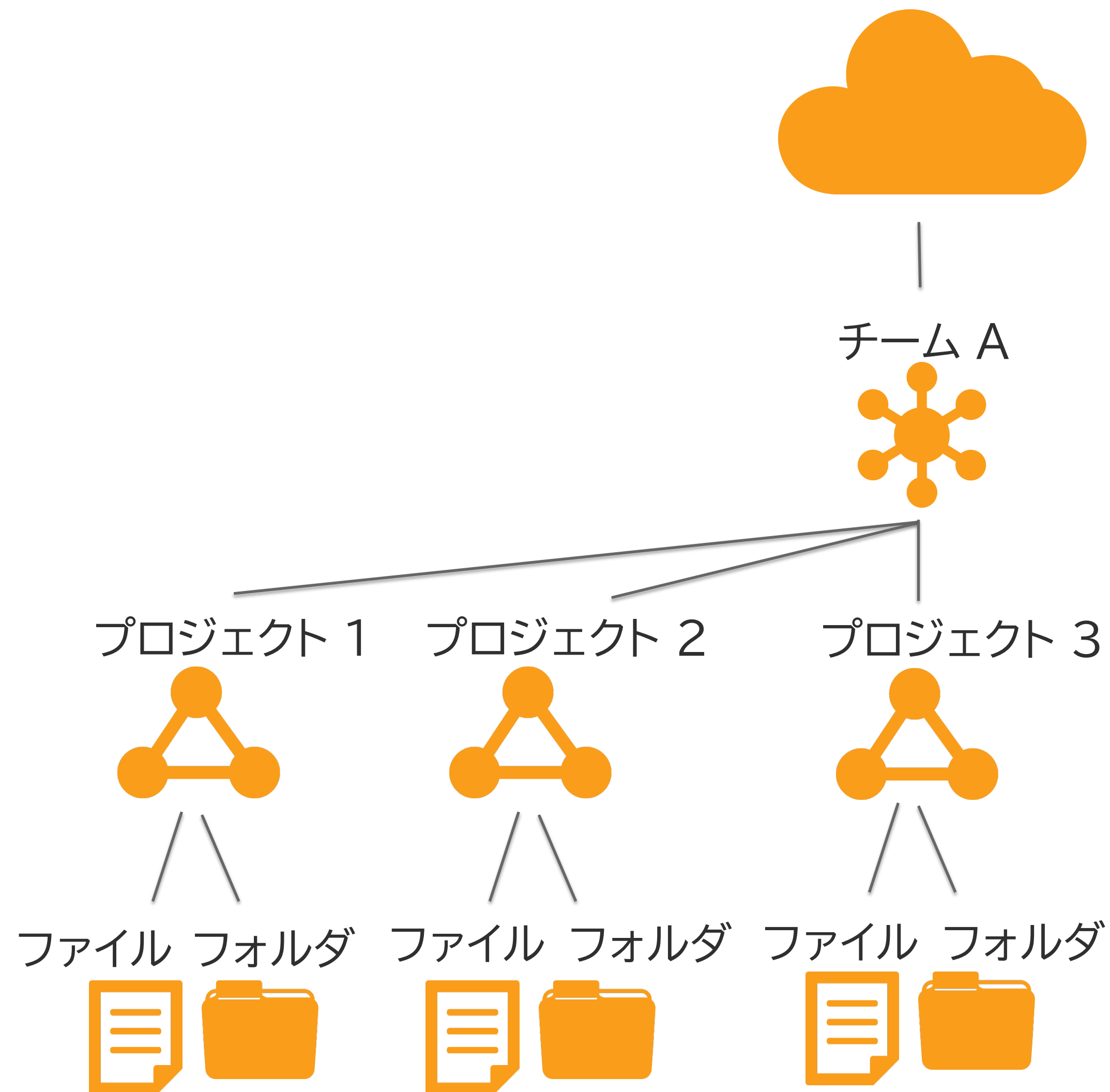
# Fusion 360 ファイル管理の階層



# アイコンの意味



# Fusion Teamの構造



Aさんのクラウド領域  
(Fusion Team)

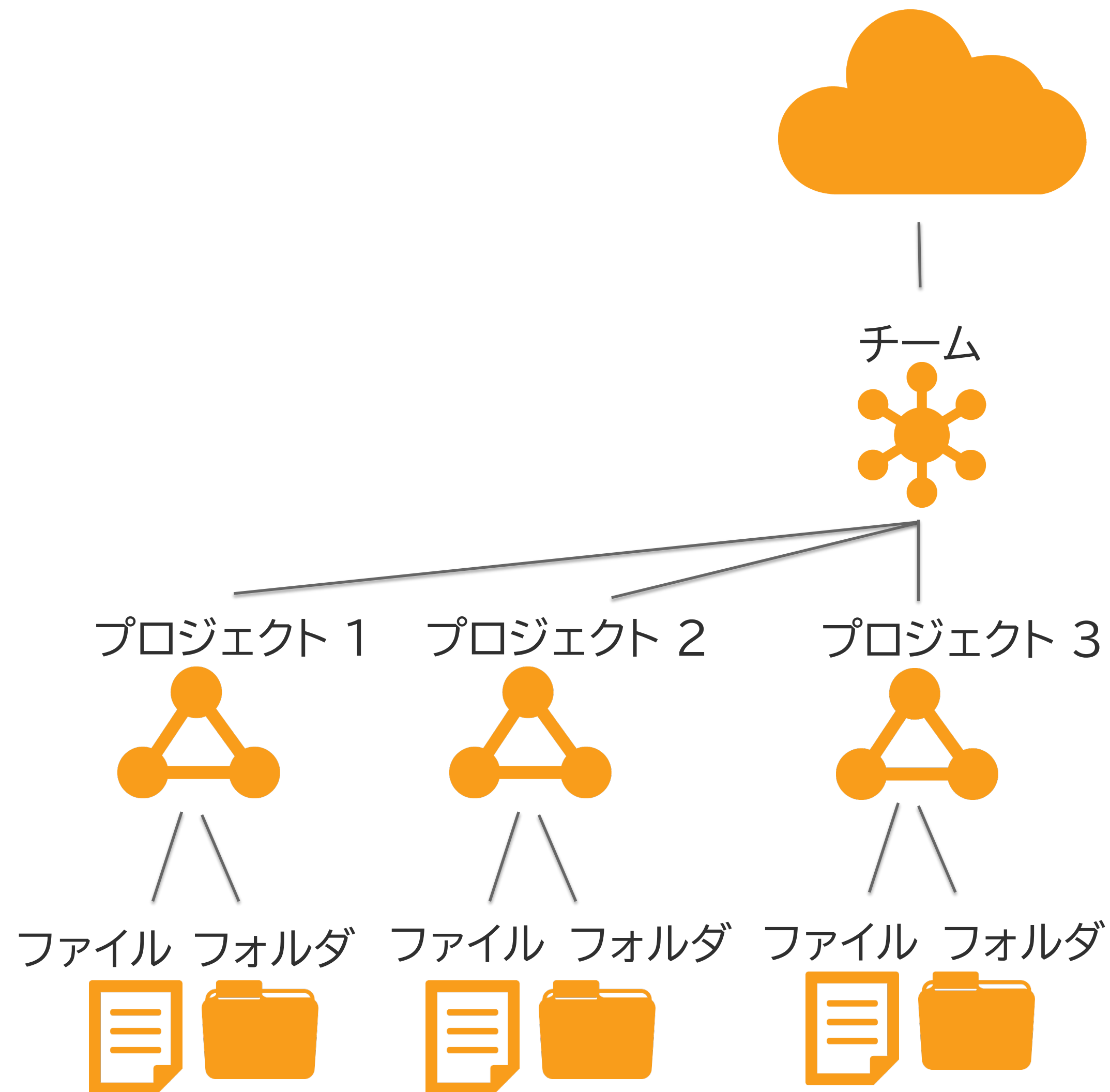
Aさんが所有するチーム  
※一人が所有できるチームは1つだけ

Aさん所有チーム内のプロジェクト  
※複数設定可能

ファイルはプロジェクト内に保存



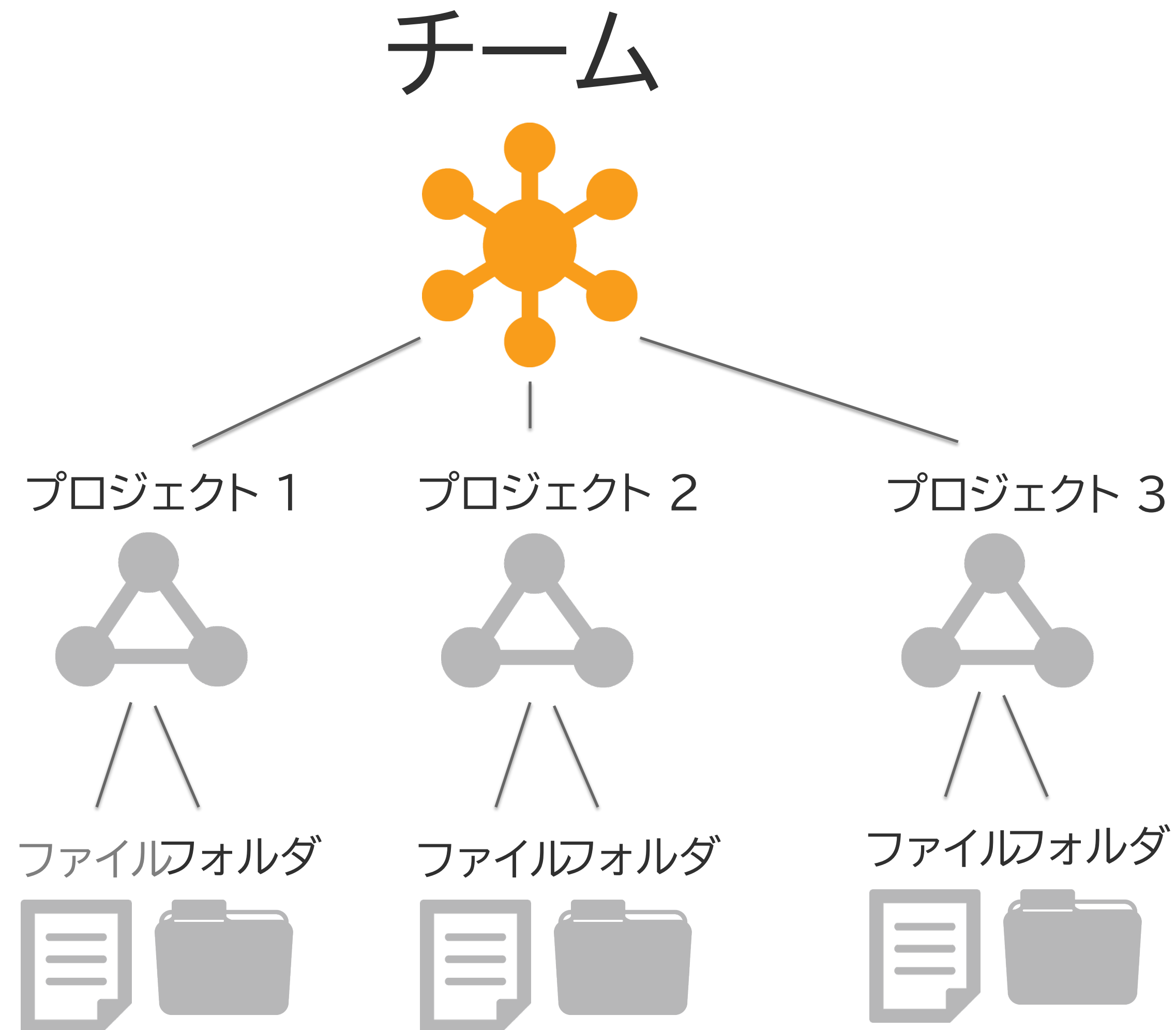
# 各階層にアクセスできる人を制御する



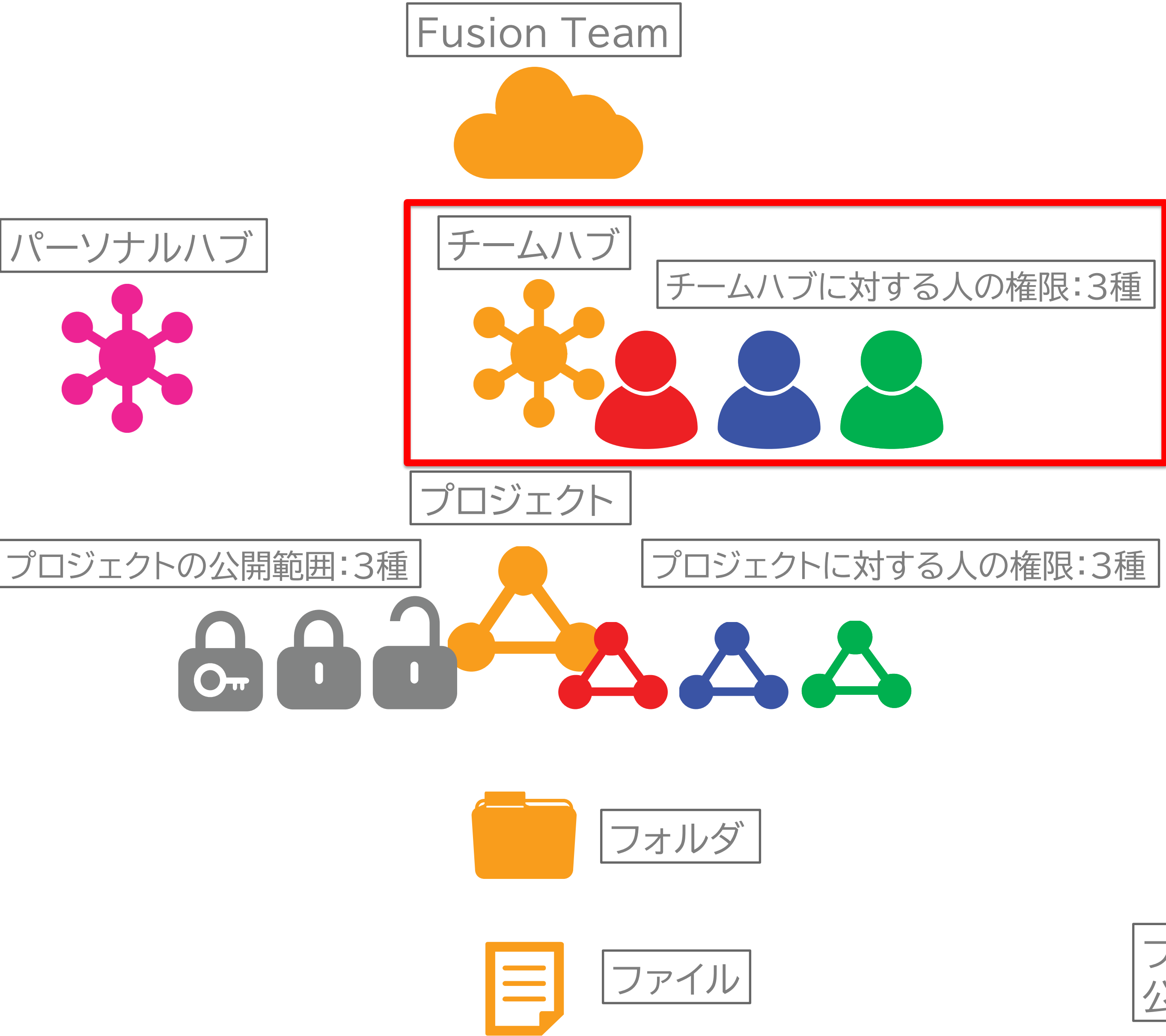
チーム：  
他者(共同作業)を招待することができる。

プロジェクト：  
各々に、他者(共同作業)を招待することができる。

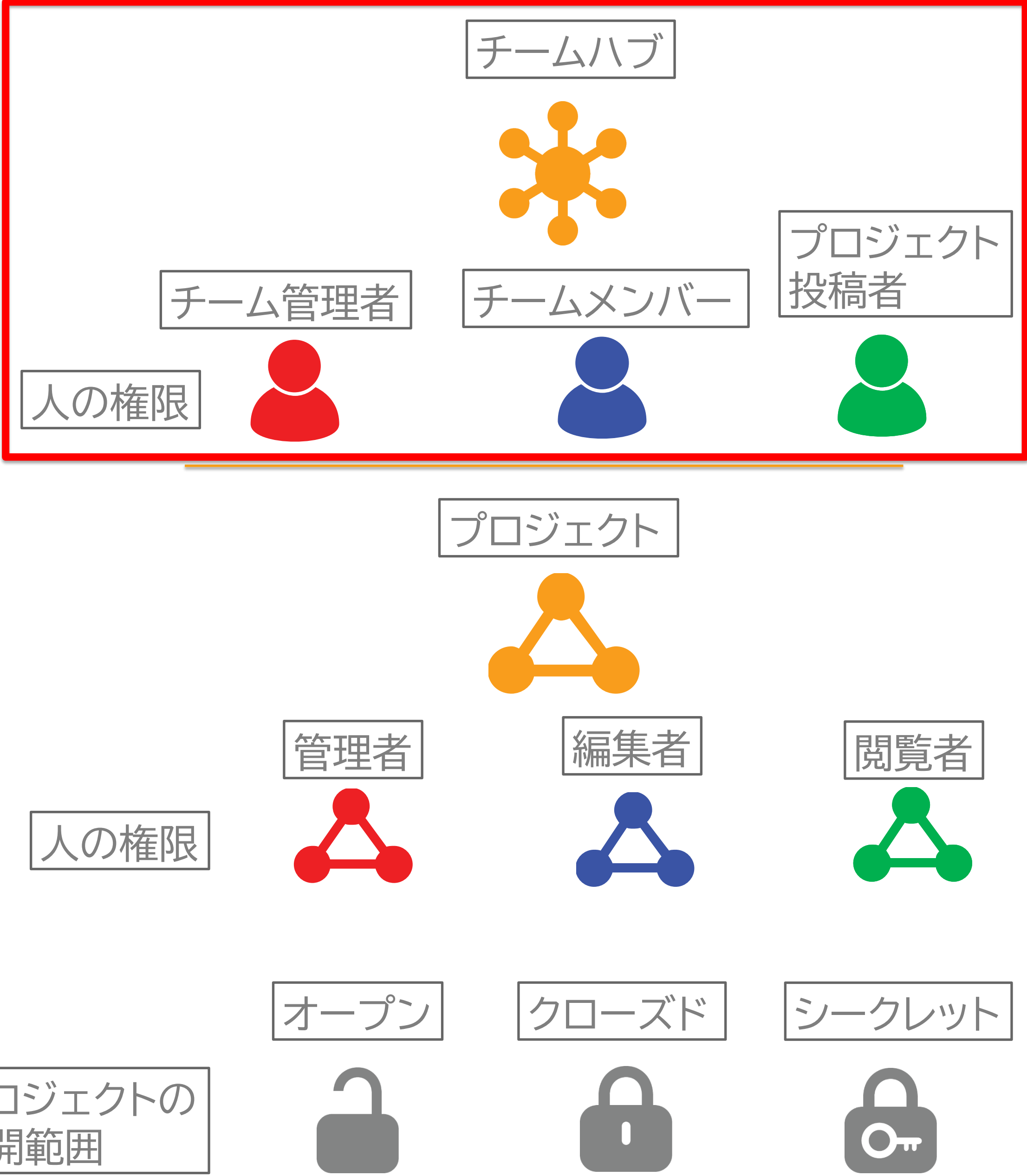
# 「チーム」にアクセスできる人の制御

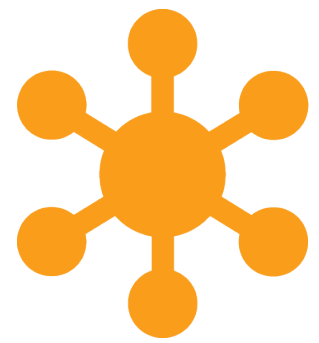


# Fusion 360 ファイル管理の階層



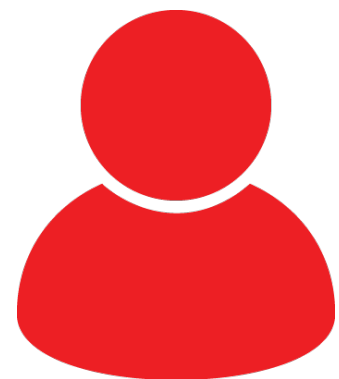
# アイコンの意味





# 「チーム」に対する権限

「チーム」には複数のプロジェクトを配置することができるので、会社や部門内で関連する複数の設計プロジェクトが進行している場合に、そのすべてをその同一のチーム内に置くことで会社全体を見通すことが可能になります。



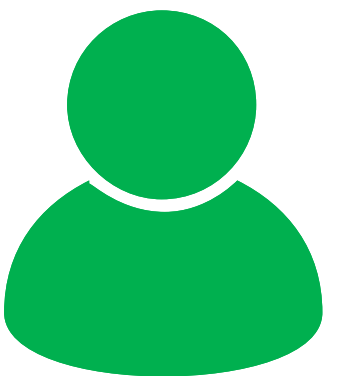
## 1. チーム管理者

- ・チームそのものについて全権を所有。  
(メンバー追加削除、ステータスの変更など)
- ・自分が作成したチームはこの権限を所有している。
- ・招待された人がチーム管理者になることも可能。その場合、チーム内の各プロジェクトにアクセスするには基本的に、各々の管理者の承認が必要。



## 2. チームメンバー

- ・チーム内のプロジェクトリストを閲覧可能。(Admin Projectは例外※)
- ・チーム内の各プロジェクトにアクセスするには各プロジェクト管理者の承認が必要



## 3. プロジェクト投稿者

プロジェクト単位のみアクセス

したがって、この権限はチームに対する権限は何もないというタイプの権限で、明示的にこの権限を付与するのではなく、後述する「プロジェクト」に権限が与えられると自動的にこの権限に設定される。

※Admin Project:自分が作成したチーム内に自動で作成されるプロジェクト



Admin Project

This project is for team members with Admin privileges in Autodesk TK Team

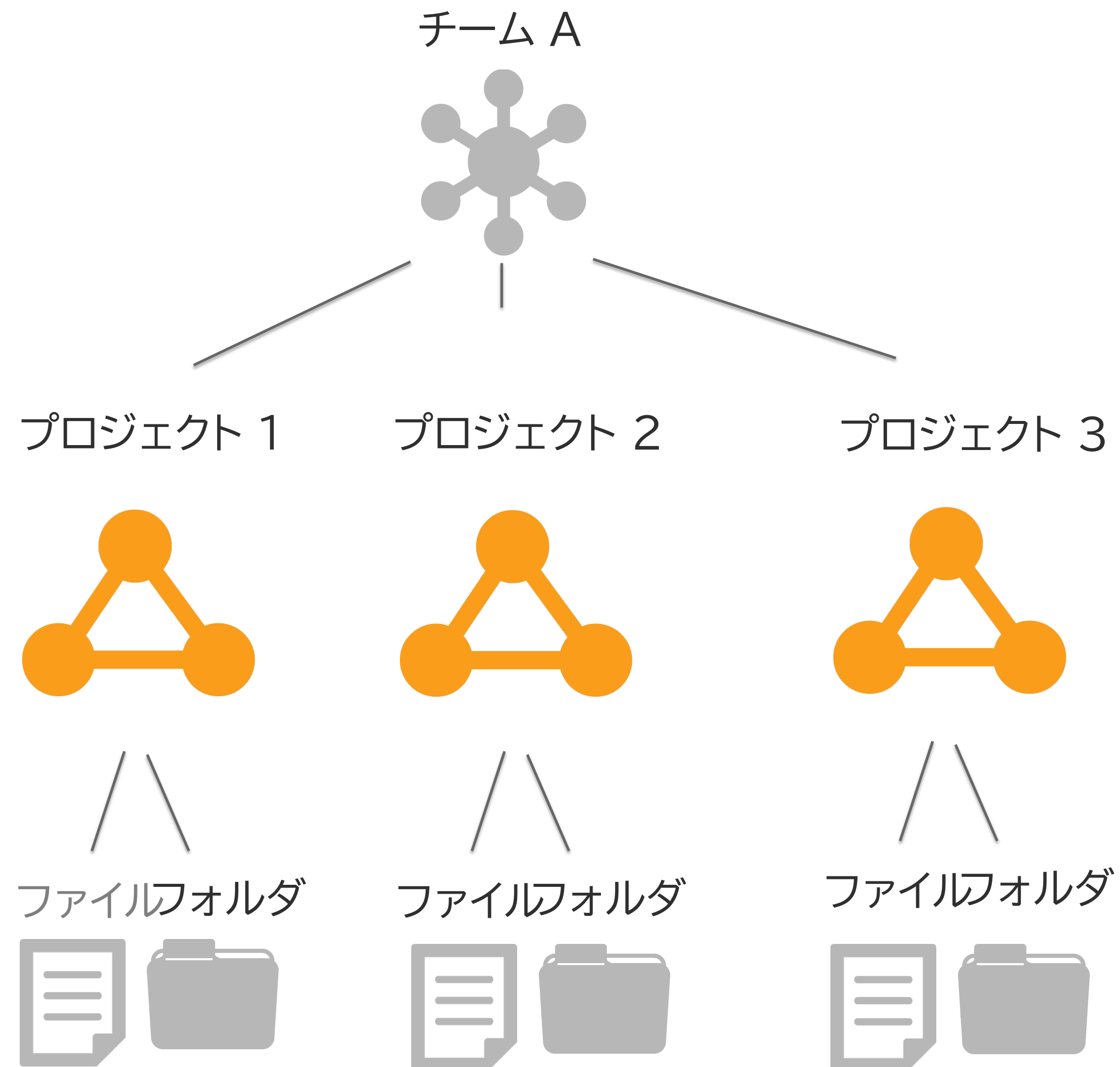


チームについての解説動画

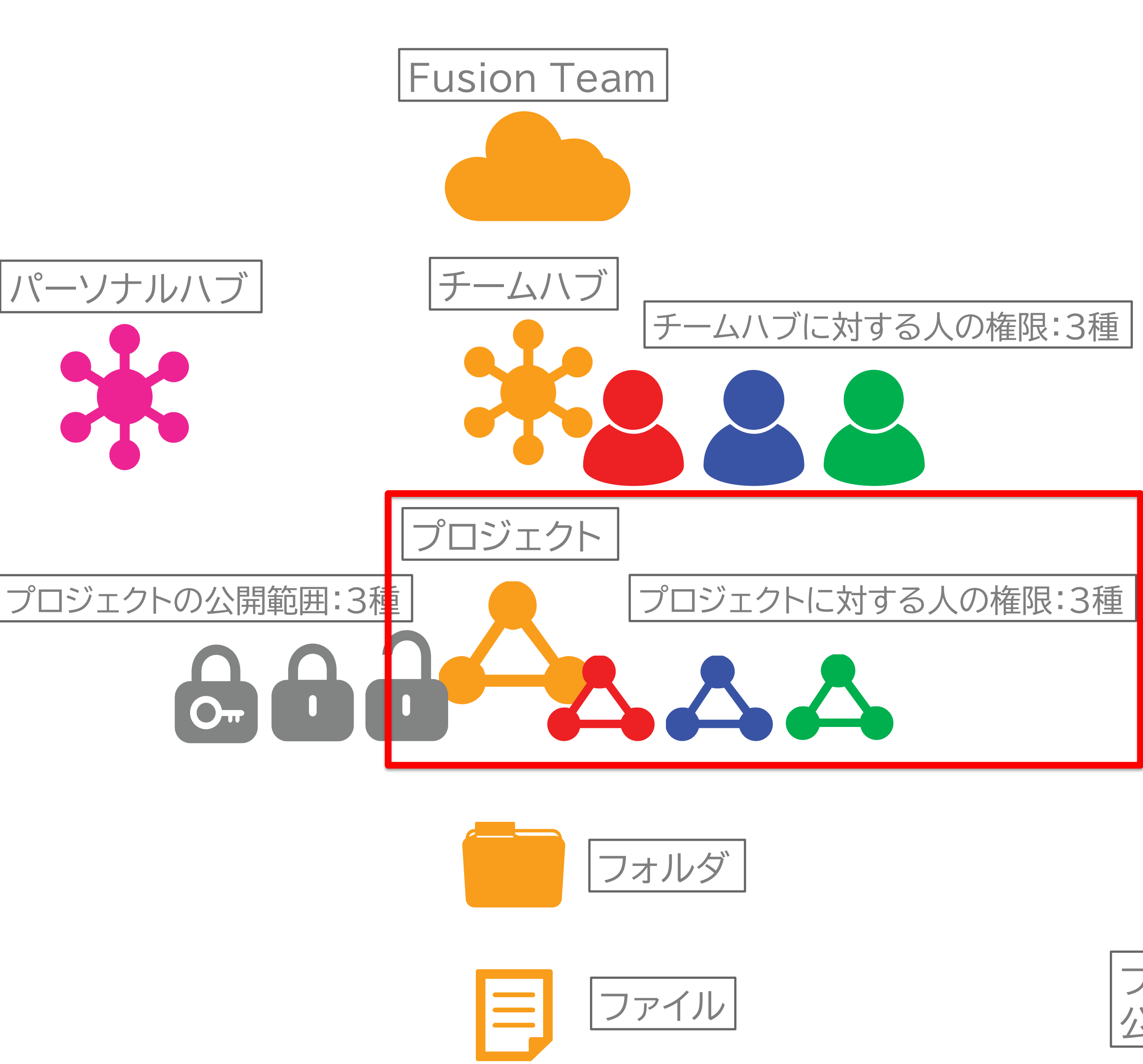
01 チームの設定

をご覧ください。

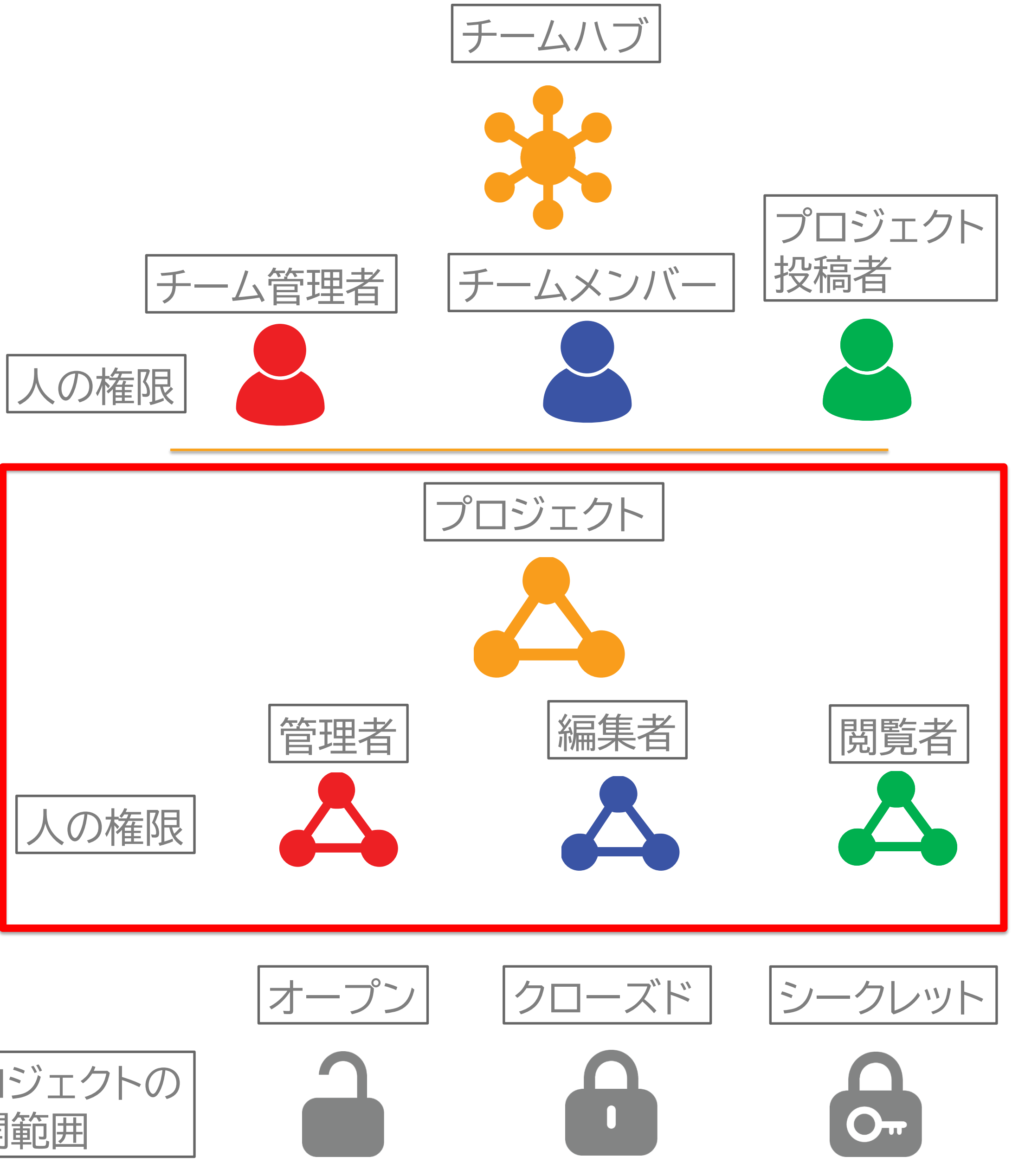
# 「プロジェクト」に対する権限



# Fusion 360 ファイル管理の階層

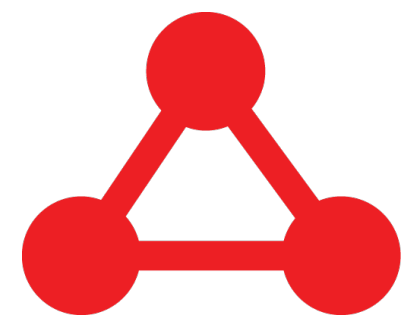


# アイコンの意味





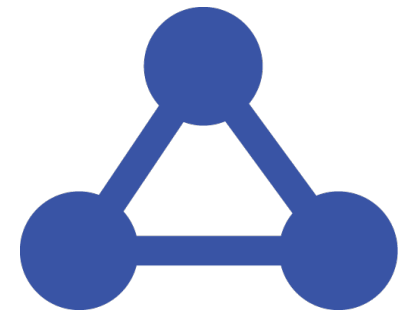
# 「プロジェクト」に対する権限

設計データを業務単位で「プロジェクト」として分類します。  
プロジェクトごとに、他者に対してアクセス権限を設定できます。  
ファイルはプロジェクト内に保管されるので、この権限が設計データ自体に各々がどう関わるかについて重要になります。



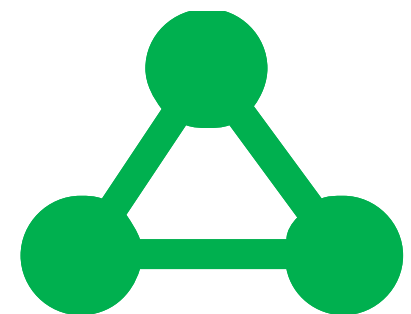
## 1. 管理者

- ・プロジェクトに対するすべての権限を所有
- ・他者の権限コントロールが可能(メンバーの追加/削除、権限変更など)
- ・チーム権限のうち、**チーム管理者**  or **チームメンバー**  のみが管理者になれる



## 2. 編集者

- ・プロジェクト内のファイルやフォルダを編集できる
- ・他者の権限コントロールは不可



## 3. 閲覧者

- ・Webブラウザ上でのみ閲覧可※ (Fusion 360上では閲覧不可)
- ・ダウンロードは不可(管理者でもこの人にダウンロード権限は付与できない)

※ **編集者**と**閲覧者**権限付与対象者は、チームに対するステータスに依存せず指名可能。  
(「この人はチームに所属しているか？」と事前に気にしなくても大丈夫ということ)



# Webブラウザでの閲覧とは？

Autodesk TK Team  
新製品開発プロジェクト

新製品開発プロジェクト > ClampAssembly.f3d V.3

概要 表示

ClampAssembly.f3d

Fusion デザイン | 共有リンク: オフ

最終更新時 19 分前  
変更者 Tae Kusano

コメント

会話を開始します。

表示およびコメント

▼ デザインリファレンス

使用 (1) 使用分野 図面

Link V.1

▼ 関連データ

レンダリング (4)

© Copyright 2020 Autodesk, Inc. All rights reserved. プライバシー ポリシー 使用条件 バージョン情報

Autodesk TK Team  
新製品開発プロジェクト

新製品開発プロジェクト > ClampAssembly.f3d V.3

概要 表示

他のアプリケーションで開く

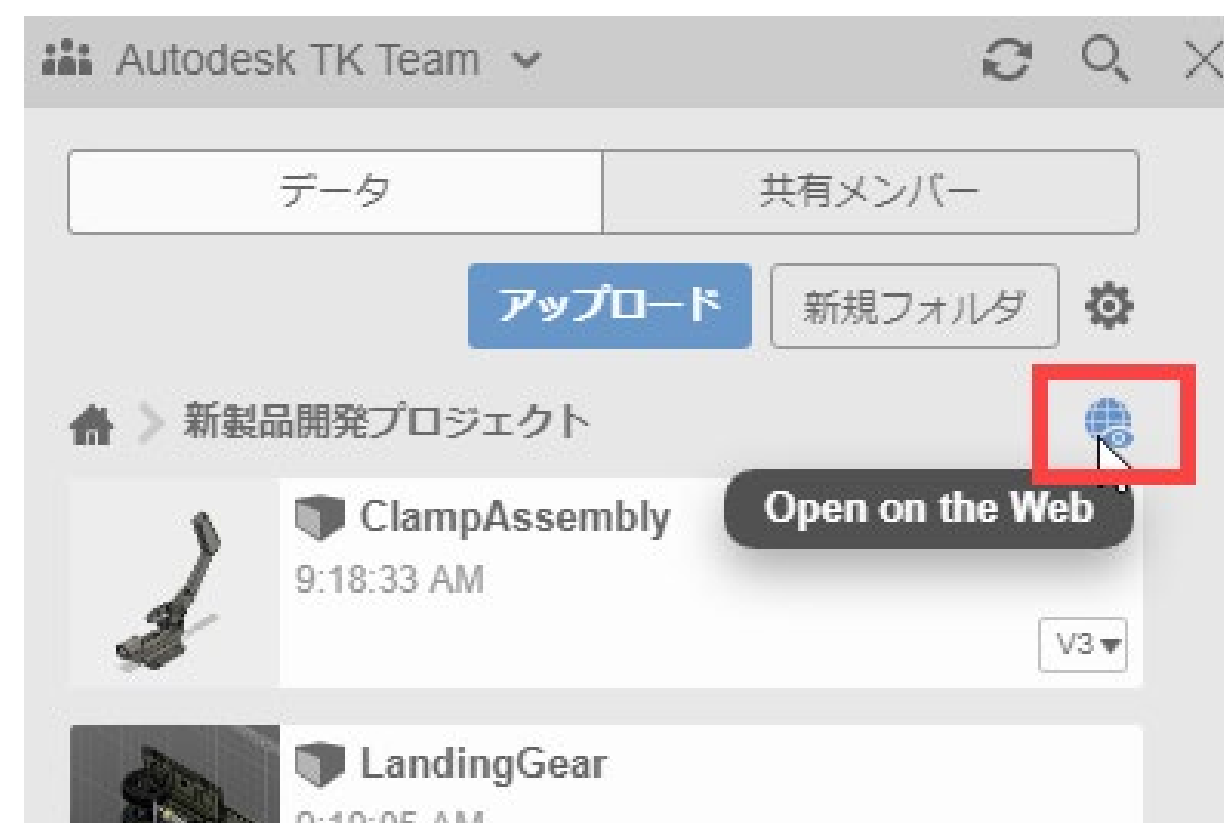
表示

© Copyright 2020 Autodesk, Inc. All rights reserved. プライバシー ポリシー 使用条件 バージョン情報

# プロジェクトにメンバーを招待するには？

方法は2種類あります。

- (1) Fusion 360 データパネルで対象のプロジェクトを開き、右側の地球マークのアイコンをクリック



「プロジェクト メンバー」>「招待」



招待相手のメールアドレスを記入し、権限を選択して「招待状を送信」

A screenshot of the 'Invite to Project' dialog box in Fusion 360. The title is 'このプロジェクトに誰を招待しますか?' (Who do you want to invite to this project?). The main area has a text input field for '招待するユーザの電子メール アドレスまたは名前 (必須)' (User's email address or name (required)). The input field contains 'Kohei Ono' and a red 'X' icon. To the right of the input field is a dropdown menu for '役割 ?' (Role). The dropdown menu is open, showing three options: '閲覧者' (Viewer), '編集者' (Editor), and '閲覧者' (Viewer). The '編集者' (Editor) option is highlighted with a red box. At the bottom, there are three buttons: '共有メンバーを管理' (Manage shared members), 'キャンセル' (Cancel), and '招待状を送信' (Send invitation). A red box highlights the '招待状を送信' button.

※ 注意:

招待相手は Fusion 360 のアカウントを所有している人のみ可能です。

# プロジェクトにメンバーを招待するには？

(2) Fusion 360 データパネルで対象のプロジェクトを開き、「共有メンバー」をクリック。

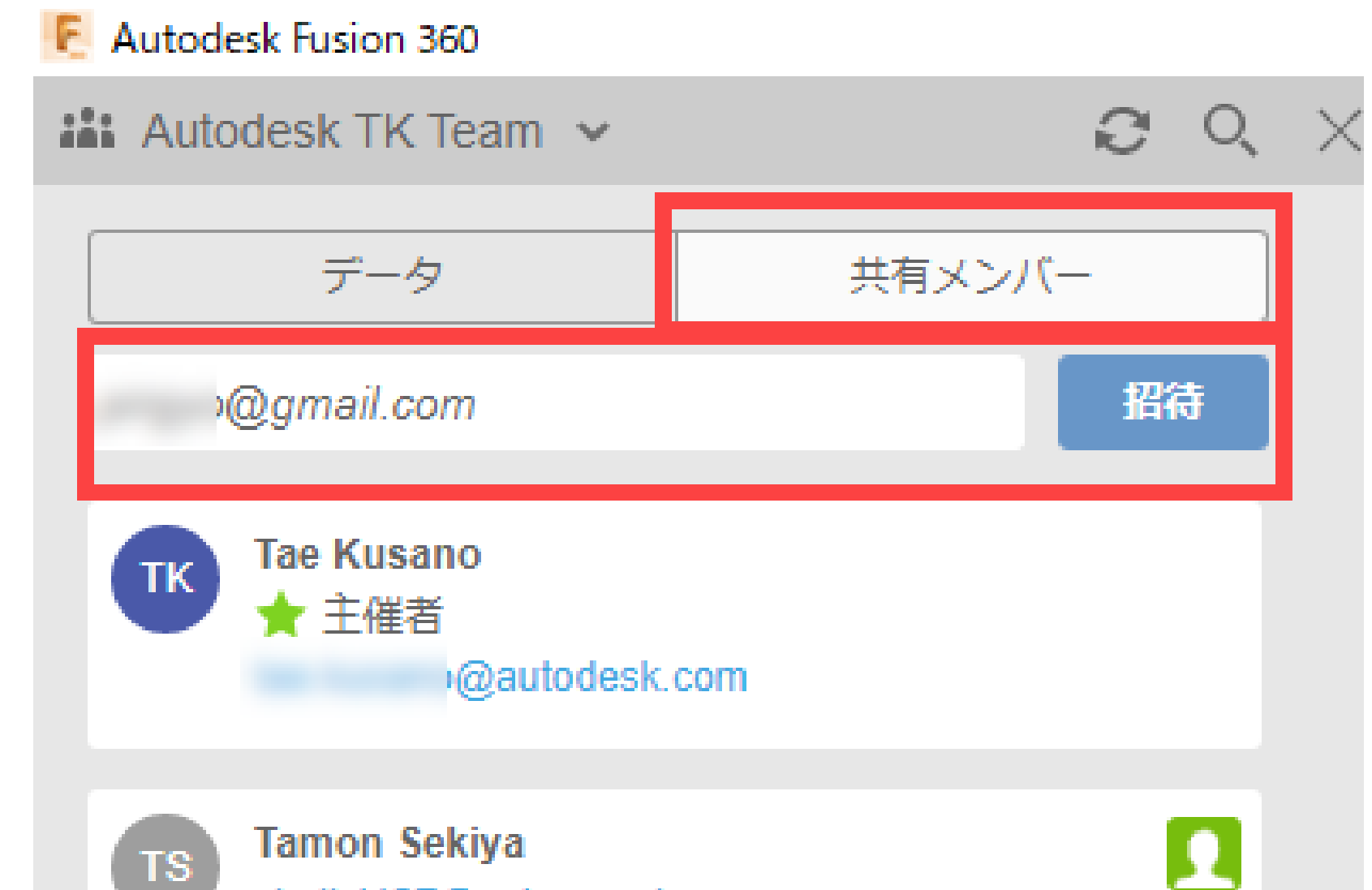
招待相手のメールアドレスを記入し、「招待」ボタンを押す。

※この方法で招待する場合は、プロジェクトに対するステータスを選択することはできません。(強制的に「**編集者**」となり、「**閲覧者**」と設定したい場合は招待後に変更します。

※ 注意:

招待相手はFusion 360 のアカウントを所有している人のみ可能です。

(1)、(2) とともに、招待の操作を行えるのは、プロジェクトの**管理者**と**編集者**です。



チームについての解説動画

02 プロジェクトの設定

をご覧ください。



# ここまでのまとめ： 権限の組み合わせとデータへのアクセス可否

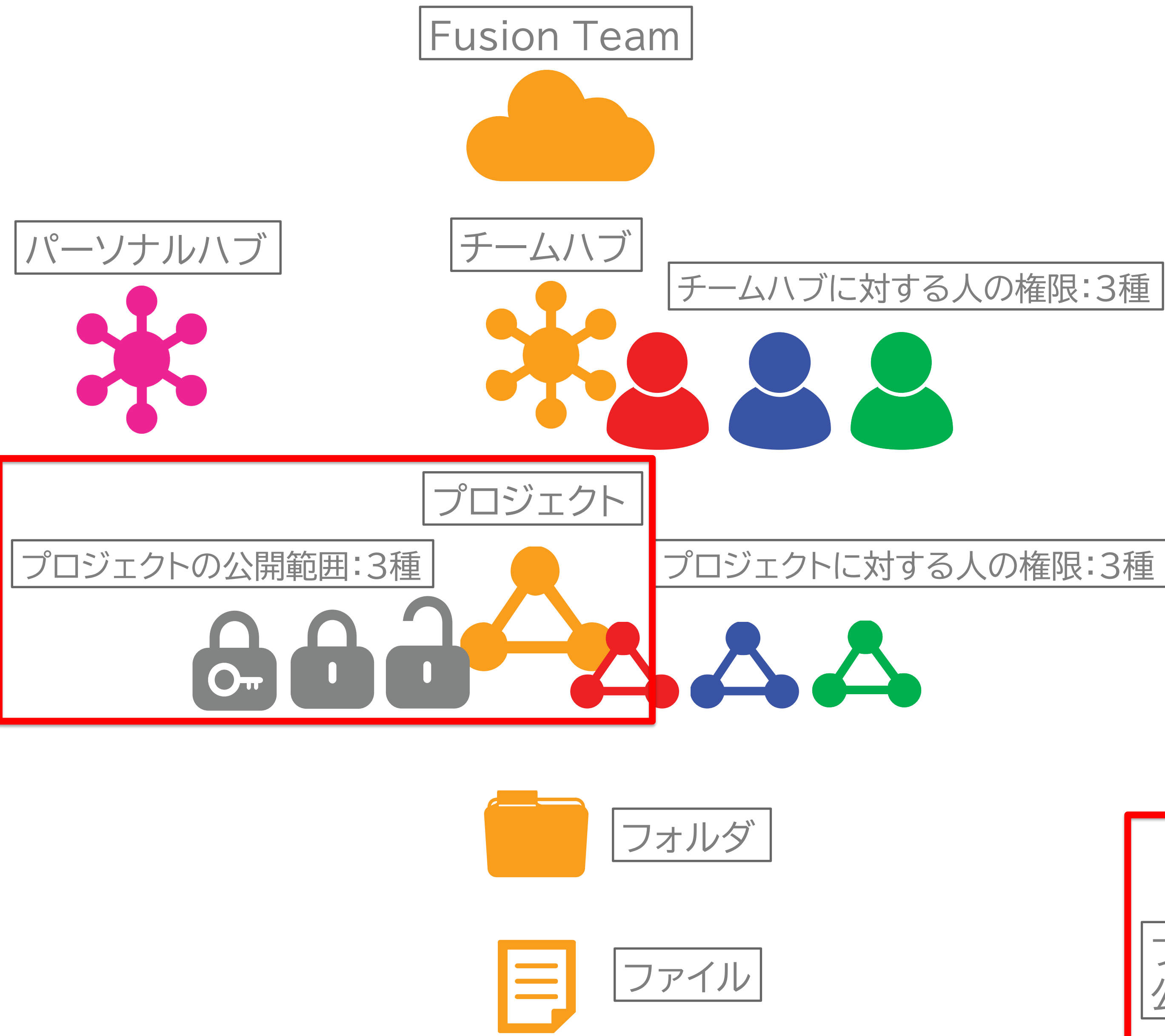
データへのアクセス方法は2種類。Fusion 360 UI上と、Webブラウザ上でのアクセスである。

- Fusion 360上でデータにアクセス可能＝データの編集権限も所有
- Fusion 360上でアクセス不可＝閲覧権限のみ

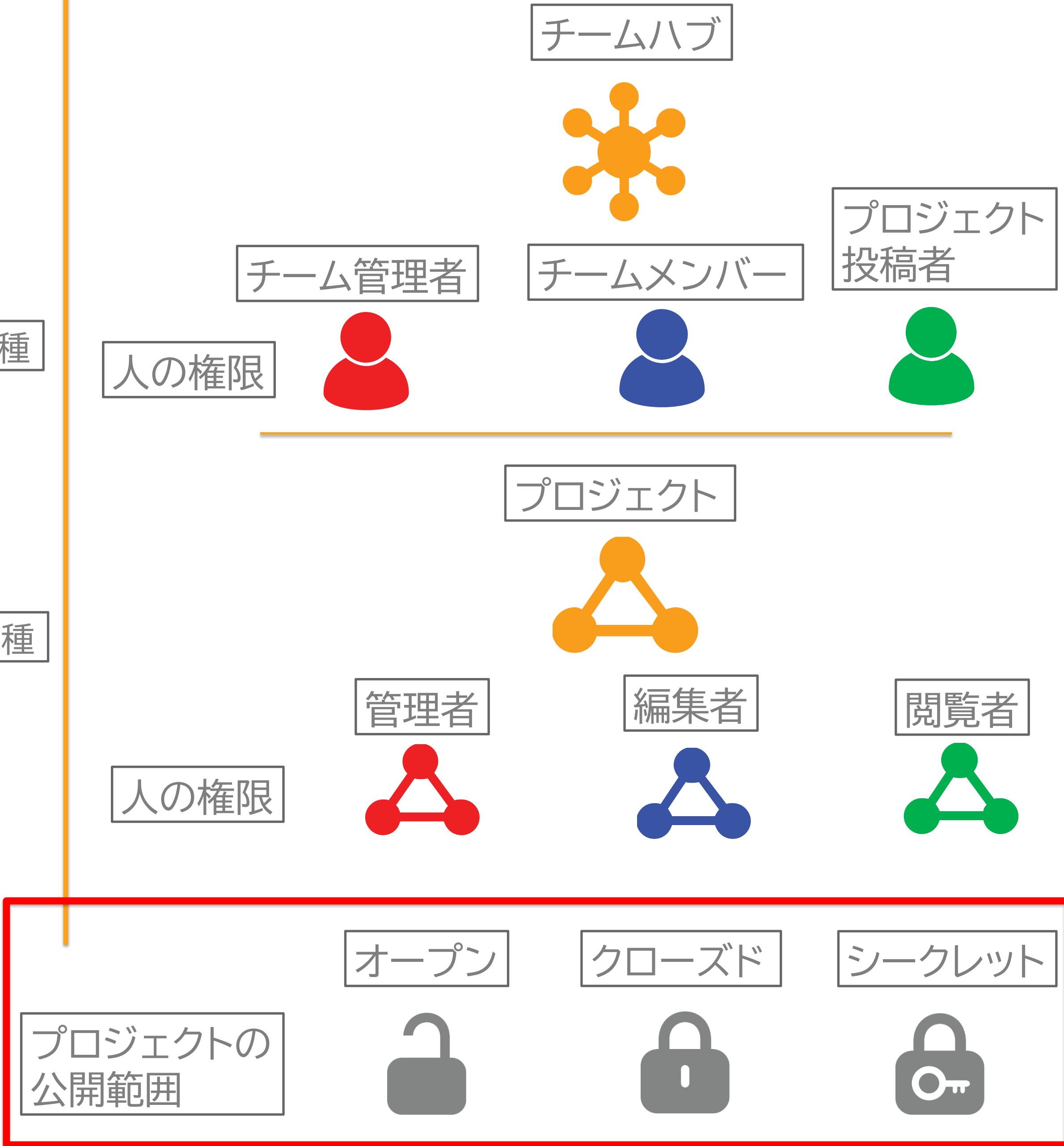
<div>プロジェクトに 対する権限</div> <div>チームに対する 権限</div>	プロジェクト管理者 	プロジェクト編集者 	
チーム管理者 	 Fusion 360 での編集、 Webアクセスともに可	 Fusion 360 での編集、 Webアクセスともに可	
チームメンバー 	 Fusion 360 での編集、 Webアクセスともに可	 Fusion 360 での編集、 Webアクセスともに可	

※ チームに対する権限の1つである「プロジェクト投稿者」は、「チーム」に対する権限は無い。  
権利が「無い」という権限もチームに対する権限の1つとして存在していると考えるとわかりやすい。  
チーム全体に関わってもらいたいのか、そうじゃなく特定の業務のみに関わってもらいたいのが判断基準となります。

# Fusion 360 ファイル管理の階層



# アイコンの意味




# プロジェクトの公開範囲設定



プロジェクト自体の公開範囲ステータスを設定できます。  
各プロジェクトの機密の程度によって使い分けることができます。





## 1. オープン

- ・参加希望者が自ら参加申請でき、**プロジェクト管理者**()の承認無しで参加完了。
- ・自ら参加した人は「編集者」権限になっている。  
→ したがってこの設定を使用するのは、かなりオープンな状況のみに限定するのがよい。





## 2. クローズド

- ・プロジェクトへの参加には、**プロジェクト管理者**()が招待することで可能。
- ・自ら参加を申請することも可能だが、メンバーになるには**プロジェクト管理者**()の承認が必要。  
→ 新規に作成したプロジェクトはこの設定になっている。



## 3. シークレット

- ・**プロジェクト管理者**()が招待できる。完全招待制。
- ・**チーム管理者**()であっても招待されていなければこのプロジェクトのメンバーになれない。
- ・チームに登録されている人でも招待されていなければデータパネルにプロジェクト名が表示されない。  
→ 完全非公開の業務用であればこれが適切。

# ファイルおよびフォルダの仕組み

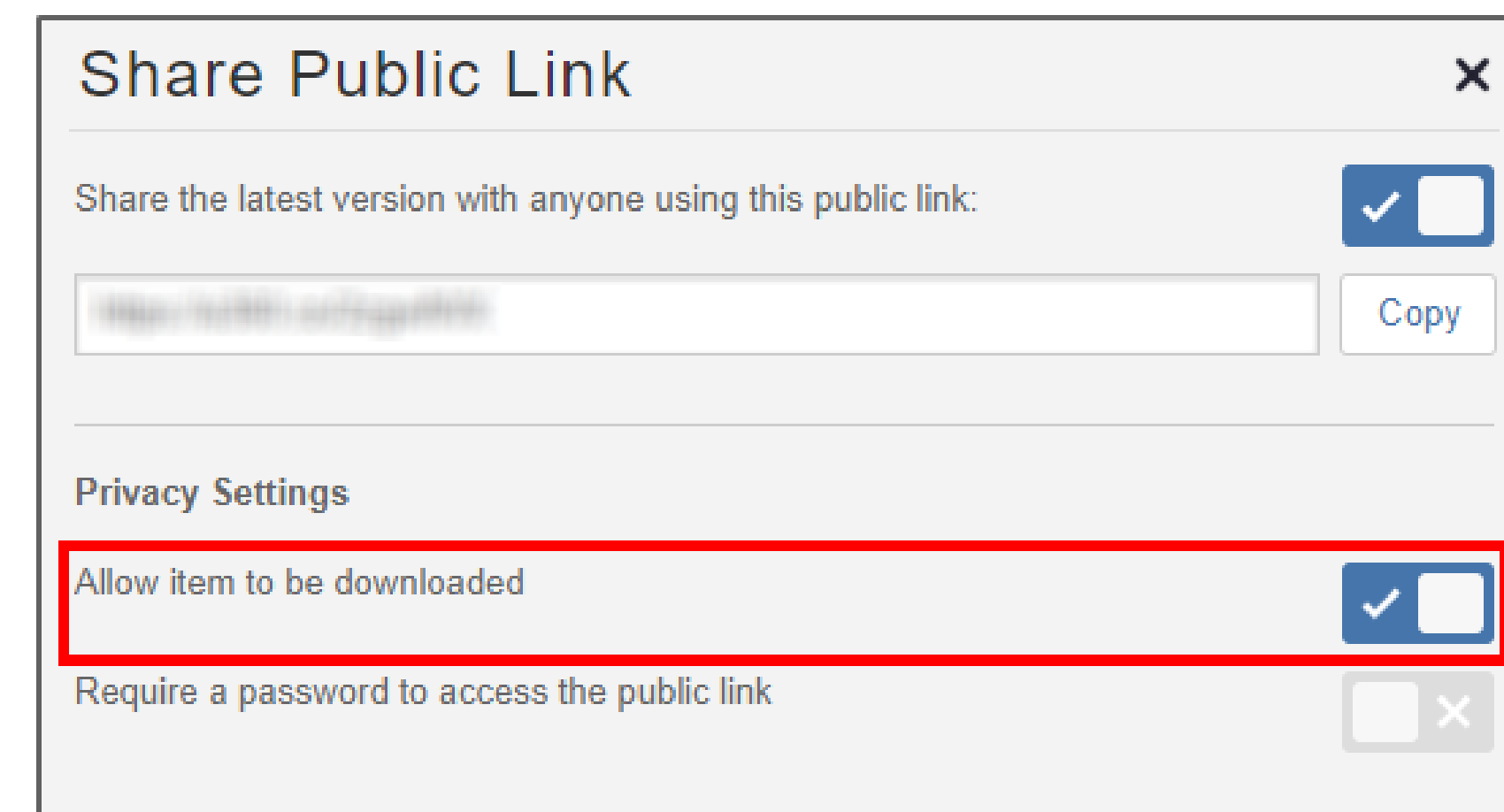


ファイル(📄)やフォルダ(📁)へのアクセスは、それらが保存されているプロジェクト(🔗)の設定に依存します。

ただし、ファイル(📄)についてはチームやプロジェクトに対するアクセス権限に関係なく、「閲覧者」を設定できます。

※特定の個人に対してではなく、リンクを知っている人はすべてアクセス可能

## 「パブリックリンクを共有」



※ダウンロード可否はパブリックリンク設定時に選択可能

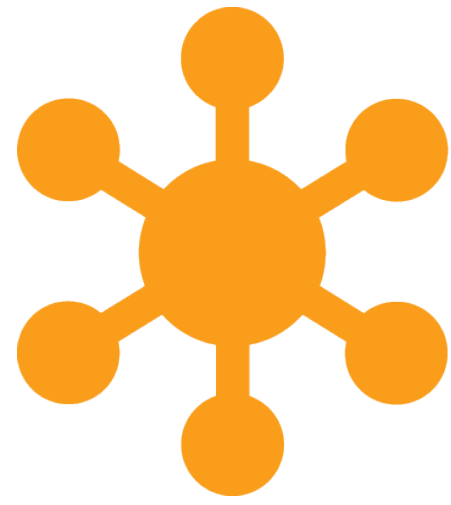
チームについての解説動画

03 公開範囲

をご覧ください。



# 「チーム」の理解：例題



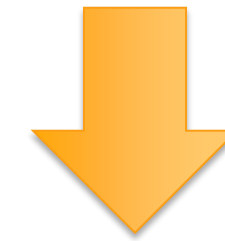
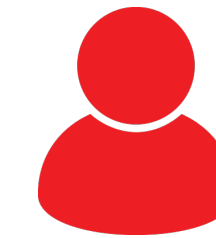
# 「チーム」を理解する：管理イメージ例 その1

部長

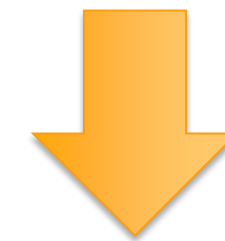


部長が新規開発製品の業務の責任者になったので、Fusion 360内にその製品のためのチームを作成した。

→ この部長が**チーム管理者**



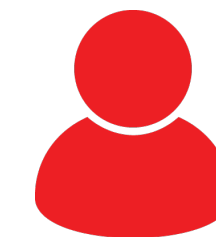
部長は、新製品開発の責任者であるだけで、実際の設計プロセスを運用するのは、仕事に関与する人の手配も含めて課長にすべて任せたい。



課長



課長への権限付与：**チーム管理者**

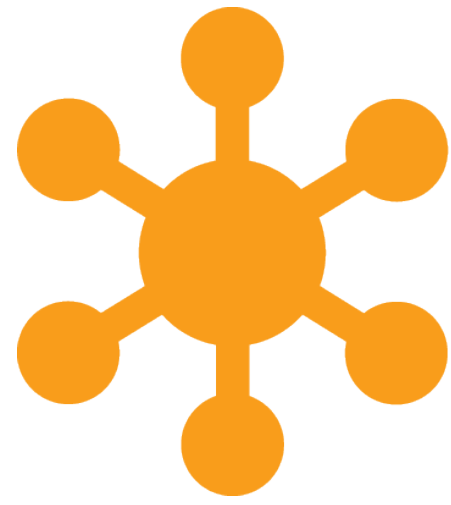


→ 部長と同等の権限で仕事をしてもらうため



**チーム管理者**

チームそのものについて、すべての権限を持つ。  
あとから権限をもらった人は権限取得後、所有者とまったく同じ権限を持つようになる。

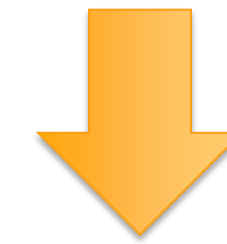
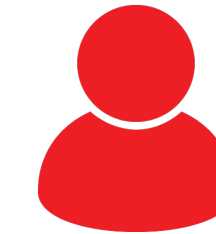


# 「チーム」を理解する：管理イメージ例 その2

課長



新製品開発の**チーム管理者**になった課長



課長は全体の進捗管理などを主に行い、設計自体は部下の係長に任せようと思っている。  
製品開発プロジェクトをどのようにグループ分けして進めるかについても任せたい。



係長



係長への権限：**チームメンバー**



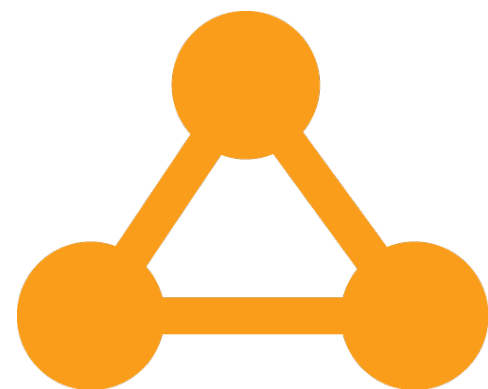
→ **チームメンバー**はプロジェクトを新たに作る権限も持つ



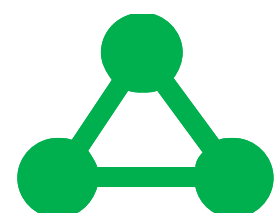
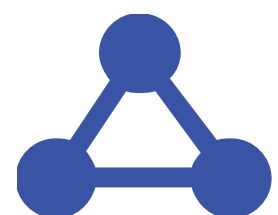
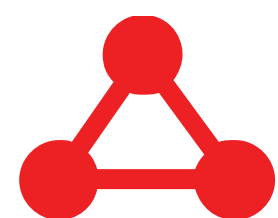
**チームメンバー**

チーム内のプロジェクト リストを閲覧可能。自分でプロジェクトを新しく作成することも可能。  
現在メンバーではないプロジェクトもリストは見ることができ、**チーム管理者**の許可をもらえばプロジェクト内にもアクセスできる。

プロジェクトへの「アクセス権」を理解する



# プロジェクトへの「アクセス権」を理解する： 管理イメージ例 その1

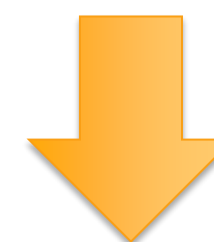
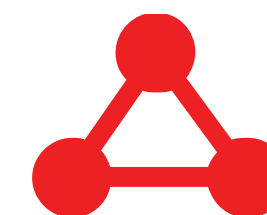


課長



課長が新規製品開発のグループ分けをした結果、とあるユニット開発のために1つのプロジェクトを作成した

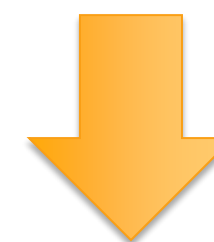
→ この課長がプロジェクトの**管理者**



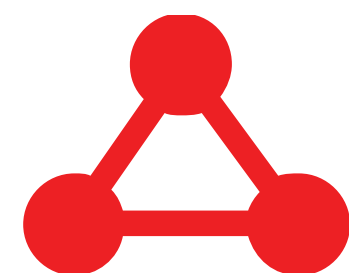
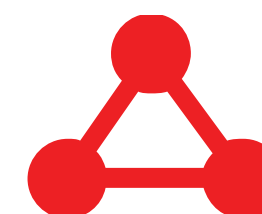
係長



このプロジェクトの責任者として係長を指名した



係長への権限：**管理者**



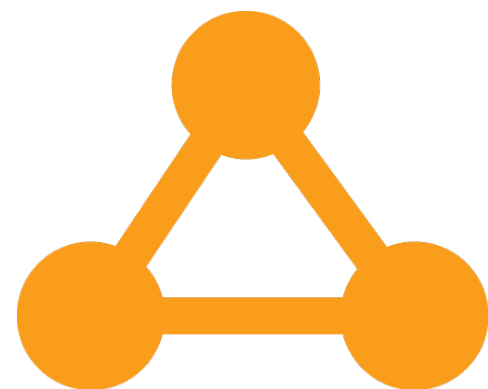
**管理者**

対象のプロジェクトに対するすべての権限を持つ。  
**チーム管理者** または **チームメンバー** がなれる。

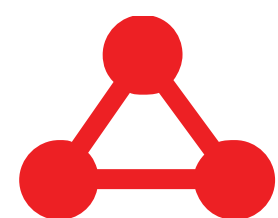


※ 実際には複数の人を管理者として指名できます

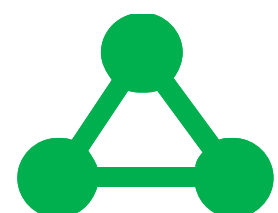
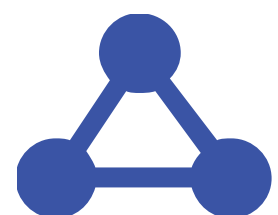




# プロジェクトへの「アクセス権」を理解する： 管理イメージ例 その2



係長



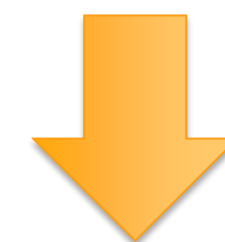
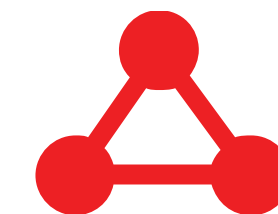
主任



一般社員Aさん



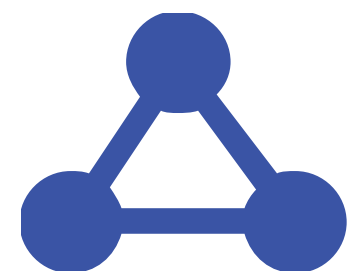
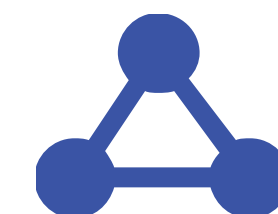
課長に指名された**管理者**の係長



部下の主任や一般社員Aさんをこの業務担当者として  
選出した



この方々への権限：**編集者**

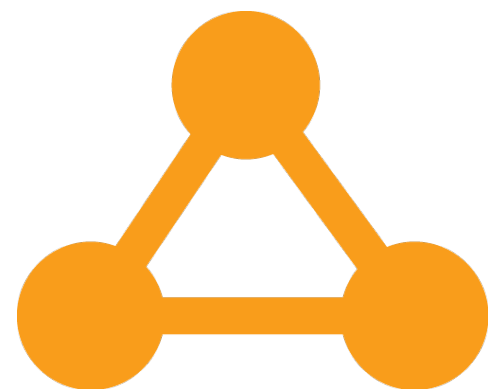


## 編集者

Fusion 360上でデータを編集できる。

チームに対する権限に関係なく、Fusion 360 のアカウントを所有しているいずれの人も招待可能。※

※ 招待された時点で「**プロジェクト投稿者**」になります。

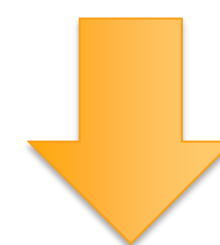
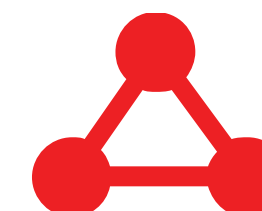


# プロジェクトへの「アクセス権」を理解する： 管理イメージ例 その3

課長

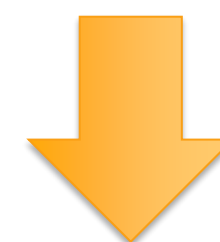


プロジェクトの**管理者**である課長

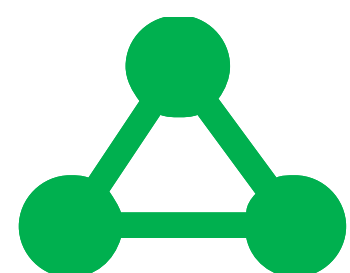
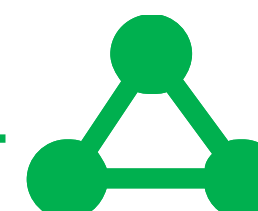


営業担当者にも開発中のデータを見てもらい、意見をもらう予定である。従って、データを見れる環境にしてあげればよい。

営業担当者



営業担当者への権限：**閲覧者**



**閲覧者**

Webブラウザ上でのみ閲覧可(Fusion 360上では閲覧不可)

チームに対する権限に関係なく、Fusion 360 のアカウントを所有しているいずれの人も招待可能。※

※ 招待された時点で「**プロジェクト投稿者**」になります。

チームについての解説動画

04 人をチームに招待

をご覧ください。

チームを理解しよう：応用編

# チームを理解しよう：応用編

基本編は、すべてにおいて最上位となる人(チームやプロジェクトの所有者)視点で各々の設定と役割を説明しました。

応用編では、「他の人のプロジェクトに参加する」という視点でさらに解説します。





# 他の人のプロジェクトに参加する： 「オープン」プロジェクトに参加する

参加方法：招待無しで参加することができる

- (1) 対象のオープン プロジェクトがある「チーム」に自分がアクセス権がある場合は、データパネル上にプロジェクト名が表示されるので、そこから申請可能。

※ プロジェクト**管理者** にお知らせは来ない。

※ このように自らオープンプロジェクトに参加した人はデフォルト設定が**編集者** 





## 他の人のプロジェクトに参加する： 「オープン」プロジェクトに参加する

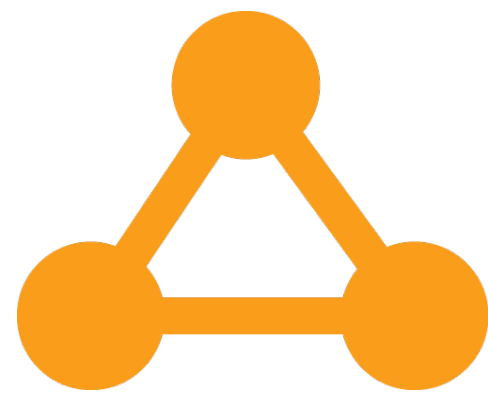
- (2) 対象のオープン プロジェクトがある「チーム」に自分がアクセス権がある場合は、Fusion Team Web内に表示されたプロジェクト一覧の中からプロジェクトをクリックすると、それが現在アクセス権のない「オープン」プロジェクトの場合は下図のように表示される画面から参加可能。

The screenshot shows the Fusion Team Web interface. At the top, there is a dark blue header with the 'F' logo and the text 'JS\_Test\_Team'. Below the header, there are tabs for 'ピン留め', 'すべて', '自分が所有者', and '自分と共有'. A list of projects is displayed, with the first project 'ABC Project' highlighted by a red rectangle. A large orange arrow points from this project to a modal dialog box titled 'プロジェクトを結合' (Join Project). The dialog box contains the following information:

- Header: プロジェクトを結合
- Message: これは、オープンプロジェクトです。データにアクセスするには、このプロジェクトのメンバーになる必要があります。
- Project Name: ABC Project
- Owner: 所有者 TK Tae Kusano
- Project Manager: プロジェクト管理者 (0)
- Buttons: キャンセル (Cancel) and プロジェクトを結合 (Join Project)



※ プロジェクト**管理者**  にお知らせは来ない。


※ このように自らオープンプロジェクトに参加した人はデフォルト設定が**編集者** 

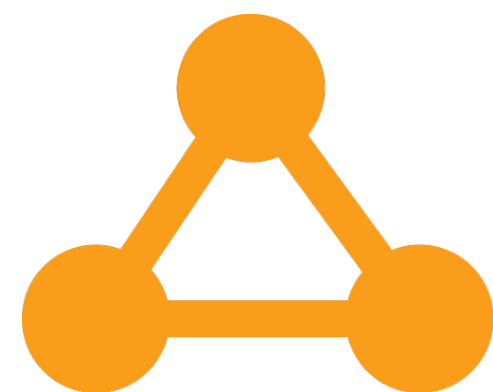


# 他の人のプロジェクトに参加する： 「クローズド」プロジェクトに参加する

参加方法：招待してもらう、または自己申請

- (1) プロジェクト管理者または編集者に招待してもらう。  
※「**編集者** 」または「**閲覧者** 」として承認してもらうことが可能

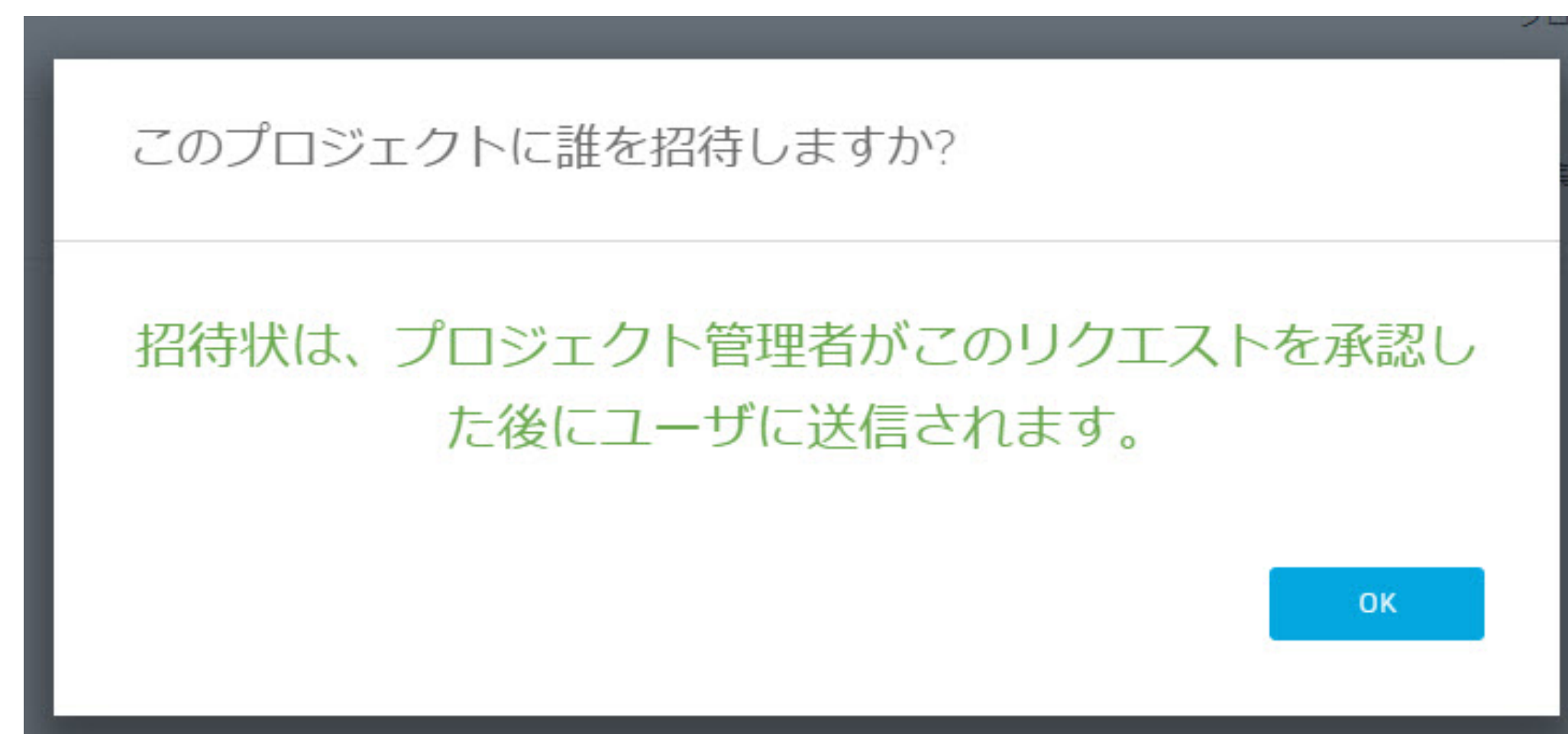
- (2) 対象のクローズド プロジェクトがある「チーム」に自分がアクセス権がある場合は、データパネル上にプロジェクト名が表示されるので、そこから申請可能。  
※「**編集者** 」として承認される。  
(その後管理者がステータス変更可能)



## 他の人のプロジェクトに参加する： 「シークレット」プロジェクトに参加する

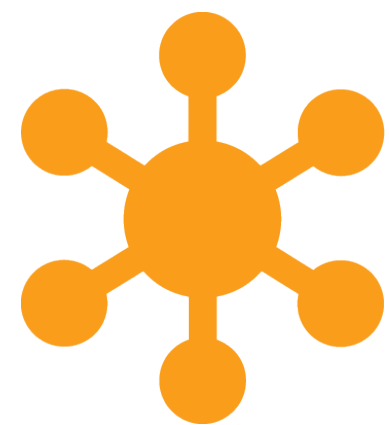
### 参加方法：完全招待制

**管理者**  または **編集者**  に招待してもらうことでのみ参加できる。  
(**編集者**  が招待した場合は、**管理者**  の承認が必要)



※ **編集者**が招待した時に表示されるメッセージ





# 他の人のチームに自分から参加する

新規にチームを作成する手順において、「発見と自動参加を許可」を選択した場合は、同ドメインのメールアドレスを使用している人が自分のチームを見つけて参加してることができるようになります。

※ フリーメールアドレス(gmail, Yahooなどの誰でも使用できるメールアドレス)での使用は対象外です。

Tae 様、Fusion 360 へようこそ

...com の他のメンバーがチームを自動的に発見できるようにすることができます。  
メールアドレス(たとえば、john.smith@...com) を持っているユーザは誰でもチームを発見  
認を必要とせずに参加することができます。

このオプションは、従業員に独自のチームを作成させるのではなく、既存のチームに参加させたい  
す。この設定は、「[Fusion Team の基本設定](#)」でいつでも変更できます。

☐ 発見を許可しない

...com の他のメンバーに、お客様のチームを発見することを許可しません。各チームの  
手動で招待する必要があります。

☒ 発見と自動参加を許可

お客様のチームを発見可能にし、...s.com のメンバーの自動参加を許可します。

シングルユーザ ストレージ

チームを作成または参加

境をコントロールするのが最善です。

+ チームを作成

既にチーム "Autodesk TK Team" を所有しているため、他のチームを作成できません。

企業に属している場合、通常はチームに参加して、同僚とコラボレートするのが最善です。

既存のチームに参加

autodesk.com に参加可能な 212 個のチームが見つかりました。チーム管理者には、チームに保存され  
ているすべてのデータへのフル アクセス権があります。

戻る

チームを作成または参加

電子メール アドレス ...@autodesk.com に基づいて、参加していただけそうなチームがいくつか見つ  
かりました。どのチームにも馴染みがない場合は、[戻る]をクリックして前の画面に戻り、独自のチームを作成  
することもできます。

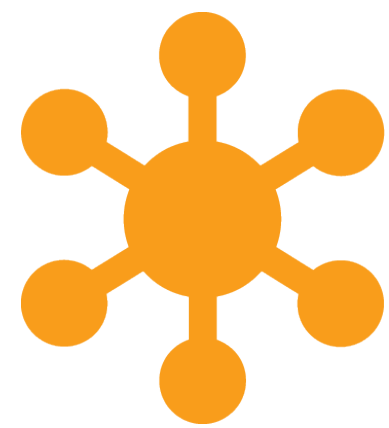
チーム名または所有者の電子メールでフィルタするには、ここに入力

- ☐ #Magic5  
...@autodesk.com
- ☐ 123  
...@autodesk.com
- ☐ If Rust Sandbox Prod  
...y@autodesk.com

戻る

参加

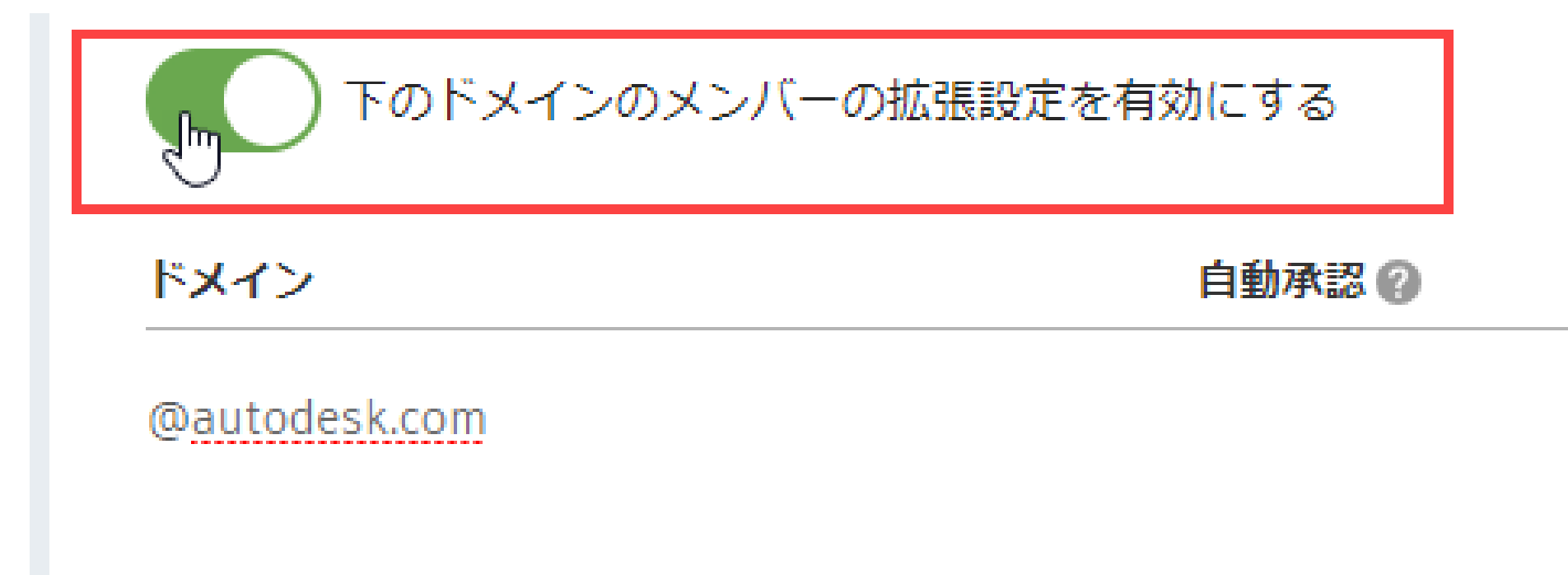
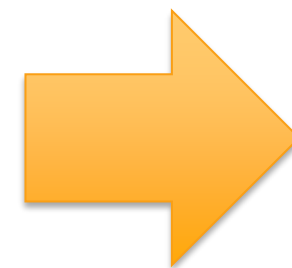




## 他の人のチームに自分で参加する

同ドメインのメールアドレスを使用している人に見つからないようにする場合の設定変更方法

ブラウザでチームを開き、「管理者」をクリック >> 画面下の方にある「下のドメインのメンバーの拡張設定を有効にする」をOFFにする








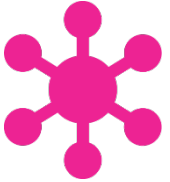
「パーソナル ハブ」とは？

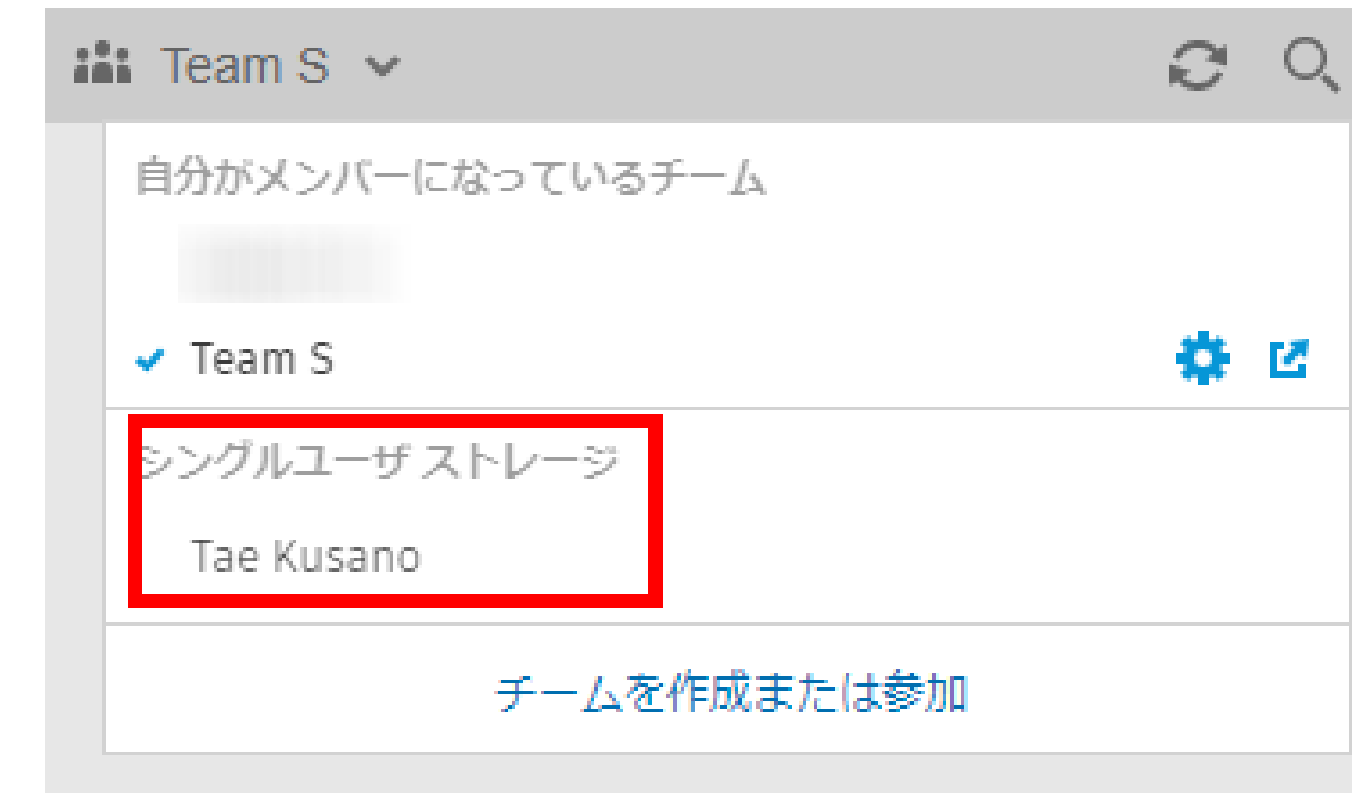
# 「パーソナル ハブ」について

2019年9月以前にFusion 360 に登録したアカウントには「シングル ユーザー ストレージ」(**パーソナル ハブ** )が存在している。

- 「非商用目的(=個人用ライセンス)」使用の場合、チーム機能を使用できません。  
「プロジェクト」でファイルを管理できますが、あくまで個人用です。

- Fusion 360 の使用においては「**基本アクセス**」のみ可能
- 他者から招待されればチームに入ることにはできる。  
(「**チームメンバー** 」または「**プロジェクト投稿者** 」になれる)  
各プロジェクトへの参加も可能 → 「**編集者** 」または「**閲覧者** 」になれる。  
※注意:個人用ユーザーで「**編集者** 」の場合、実際には編集は不可能。  
Fusion 360上でファイルを表示できるが保存は不可。

- 「商用目的」、「教育目的」、「スタートアップ」で使用の場合
  - パーソナルハブ  のプロジェクトをチームハブ環境へ転送し、Fusion Team のプロジェクトとして運用することが可能。(実施することをお勧めします)



# 参考:「基本アクセス」とは？

「基本アクセス」とは、Fusion 360 フル機能に対して一部機能の使用が制限されている状態です。

<https://knowledge.autodesk.com/ja/support/fusion-360/learn-explore/caas/sfdcarticles/sfdcarticles/JPN/Fusion-360-Free-License-Changes.html>

制限されている機能は以下のとおりです。

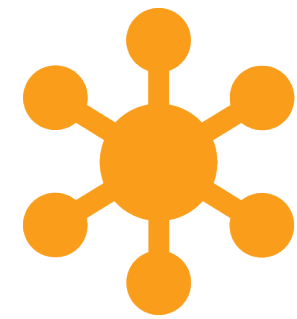
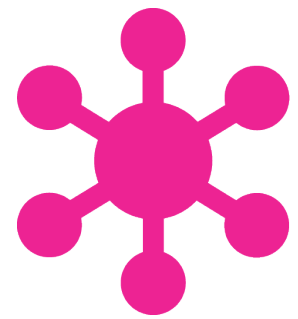
- **Fusion Team**
- **AnyCAD機能**: 他社CADのデータや中間フォーマットデータを読み込み、元データとの関連性が維持される機能

<http://help.autodesk.com/view/fusion360/JPN/?guid=GUID-8B133391-1AD6-4403-8519-3D6837CFA6C8>

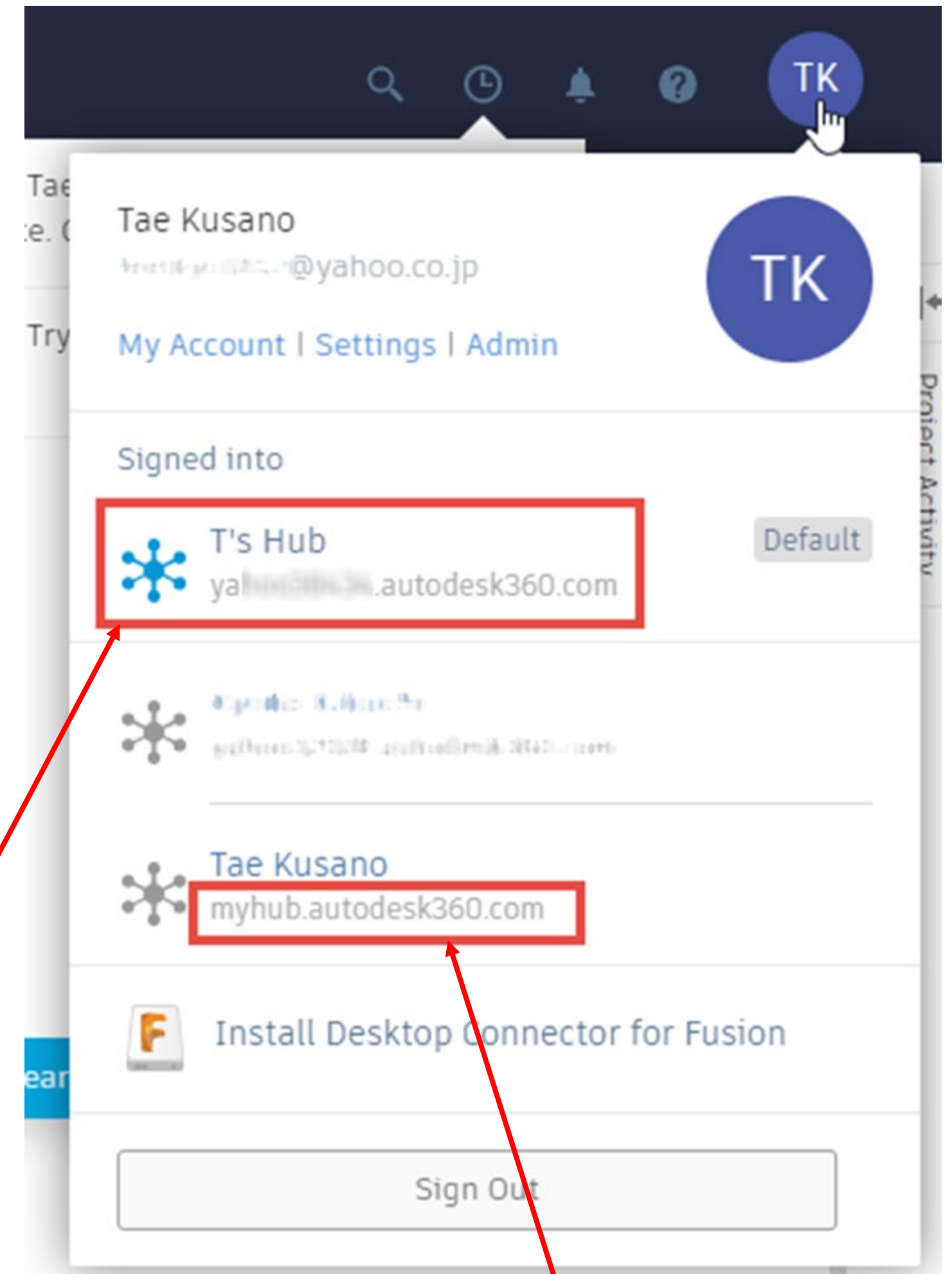
- **他社CADデータのインポート**: 中間フォーマットデータのみインポート可能

[http://help.autodesk.com/view/fusion360/JPN/?guid=Fusion\\_Import\\_designs\\_supported\\_file\\_formats\\_html](http://help.autodesk.com/view/fusion360/JPN/?guid=Fusion_Import_designs_supported_file_formats_html)

# パーソナルハブとチームハブの見分け方



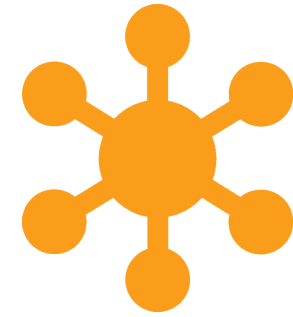
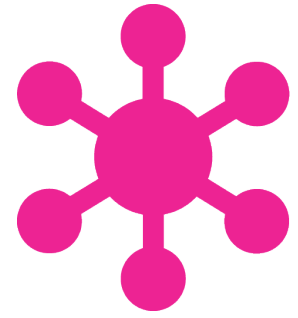
パーソナルハブとチームハブの両方を持っている方は、各々Web上と Fusion 360 UI上で所有するチームを表示できる。



“myhub.autodesk360.com”  
ではないものが **チームハブ**

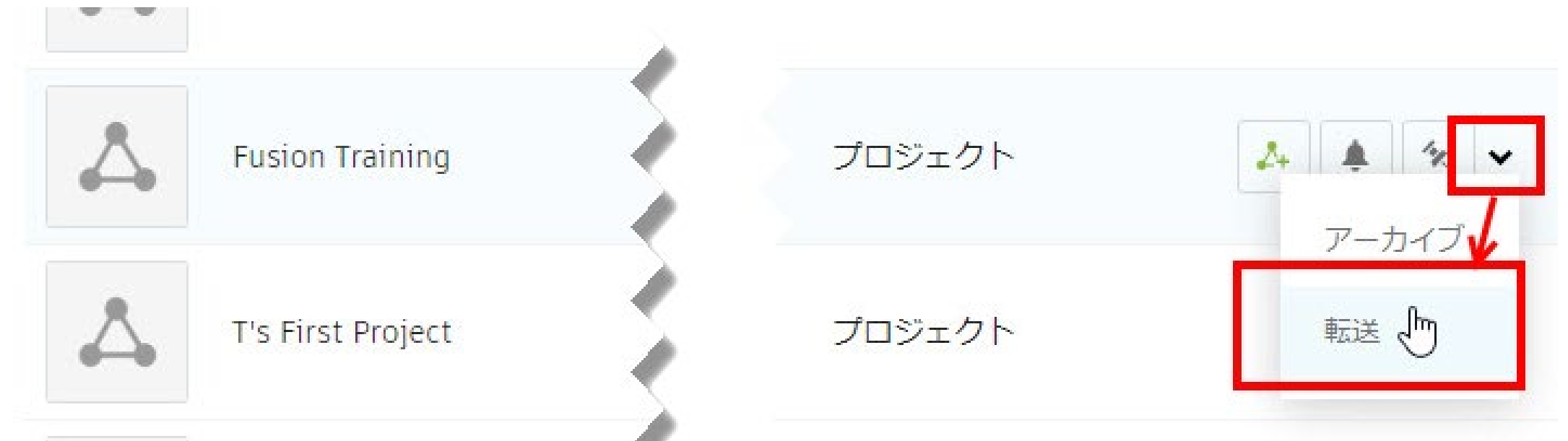
“myhub.autodesk360.com”  
が **パーソナルハブ**

# パーソナルハブからチームハブにプロジェクトを個別転送する



## プロジェクトを個別に転送する

1. 自分のパーソナルハブをWeb上で表示
2. プロジェクトのアイコンをクリックして「転送」
3. 転送先のチームを選択し「続ける」
4. 「はい」で転送実行



転送先のチームを選択

転送元

ue29c8447 (Autodesk TK Team) a)

転送先

プロジェクトの移動先チームを選択:

autodesk4412 (Autodesk TK Team) ▼

autodesk4412 (Autodesk TK Team)

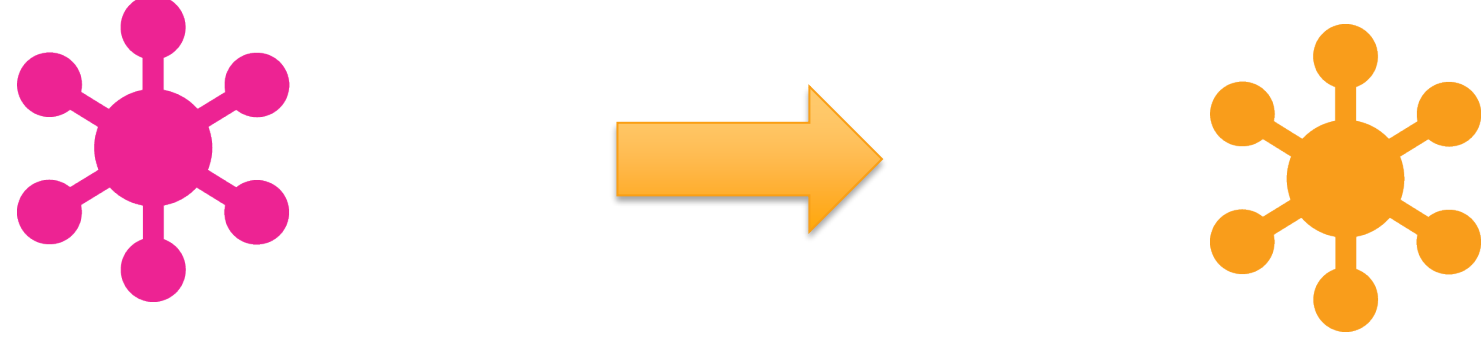


キャンセル

続ける



# パーソナルハブからチームハブにプロジェクトを一括転送する



## プロジェクトを一括転送する

1. 自分のパーソナルハブをWeb上で表示
2. [Fusion Team Hub オンボーディングサイト](#) にアクセス
3. 開いたページのボタンを押して次のページへ
4. 転送したいプロジェクトを左のリストから選択  
転送先のチームを右のリストから選択
5. 「次へ」で開いたページで転送を実行(※注意)

プロジェクトを移動

転送を開始しましょう。移動するプロジェクトを選択します。プロジェクトの移動先チームを選択するか、新しいチームを作成します。Fusion のチームの詳細については、[こちら](#)を参照してください。

移動するプロジェクト:

<input checked="" type="checkbox"/>	すべて選択
<input checked="" type="checkbox"/>	CAM Training
<input checked="" type="checkbox"/>	Generative Design
<input checked="" type="checkbox"/>	spoon
<input checked="" type="checkbox"/>	Tae's First Project

移動先チーム:

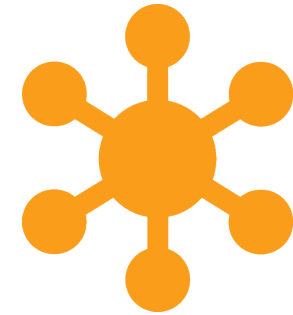
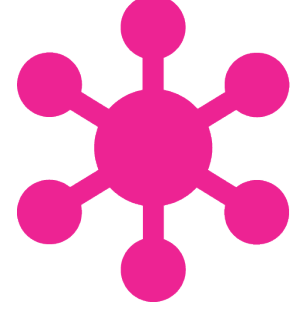
<input type="radio"/>	Autodesk Generative Design alham.luna@autodesk.com	Join Team
<input checked="" type="radio"/>	Autodesk TK Team tae.kusano@autodesk.com	Admin
<input type="radio"/>	AutodeskLicensing ankush.soni@autodesk.com	Join Team
<input type="radio"/>	Baoxuan Xu baoxuan.xu@autodesk.com	Join Team
<input type="radio"/>	Barcelona's TEAM david.salazar@autodesk.com	Join Team

キャンセル 次へ


オンボーディングサイト

<https://login.autodesk360.com/login/signup?edition=business&product=fusion&onboarding=true>

# パーソナルハブからチームハブにプロジェクトを一括転送する



## 【注意】

- 他者と共有しているプロジェクトがある場合、共有状態が引き継がれますが、共有メンバーは「プロジェクト投稿者 」になります。
- 法人組織のドメイン(例:@autodesk.com)を使用している場合、転送先のリストには同じドメイン内のチームがリストされます。
- 転送できるのは自分が作成したプロジェクトのみです。

移動先チーム:

<input type="radio"/>	Autodesk Generative Design silviana.luna@autodesk.com	Join Team
<input checked="" type="radio"/>	Autodesk TK Team tae.kusano@autodesk.com	Admin
<input type="radio"/>	AutodeskLicensing anikush.ved@autodesk.com	Join Team
<input type="radio"/>	Baoxuan Xu baoxuan.xu@autodesk.com	Join Team
<input type="radio"/>	Barcelona's TEAM david.salazar@autodesk.com	Join Team



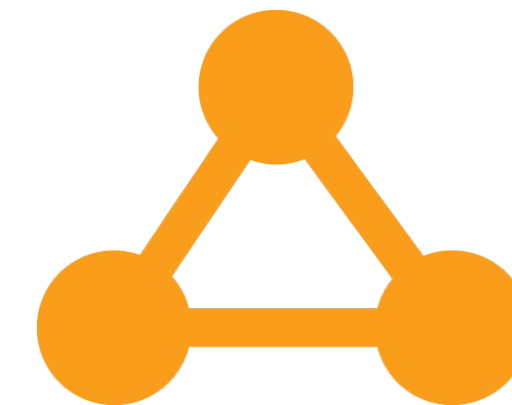
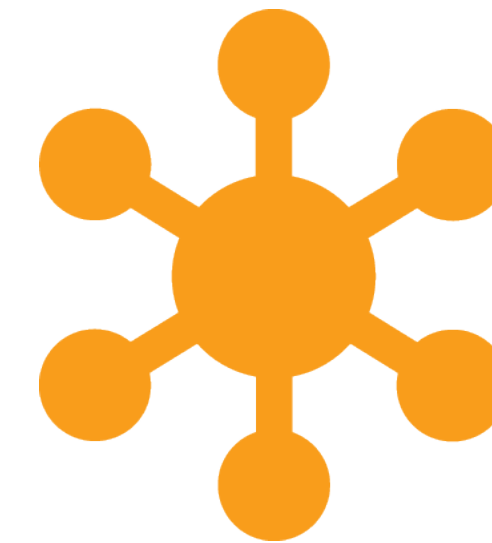
チームについての解説動画

05 パーソナルについて

をご覧ください。

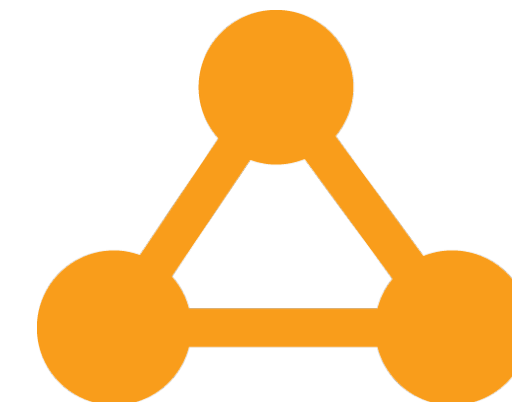
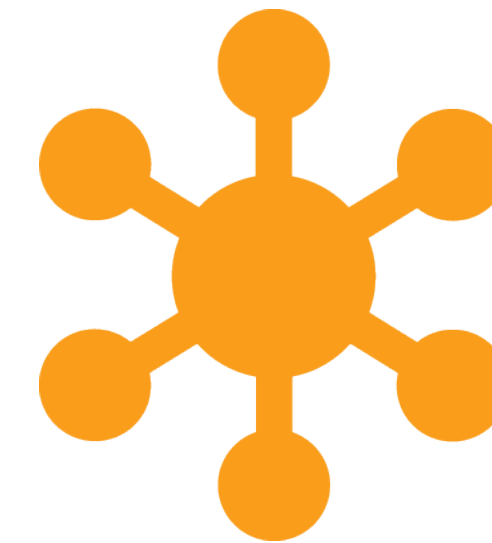
# Fusion Team:まとめ

- クラウド領域の中には「チーム」という大きな枠を1つ以上設定できる。この範囲内において、「プロジェクト」は必要に応じて複数追加できる。
- 「プロジェクト」は仕事単位の分類であり、用途に合わせて徹底的に秘密にできるものから徹底的にオープンにできるものまでである。
- 業務の性質に合わせてアクセスする人員の権限を設定できる。



# Fusion Team:まとめ

Fusion Team を使用することによって、チーム設計を円滑にすすめることができるようになり、遠隔地や在宅勤務者どうしでの共同作業も効率的に行えるようになります。



# Fusion Teamは単独でお買い求めいただけます

例えば、「設計はしないけどデータを閲覧する必要があるメンバーがいる」というような場合は Fusion 360 本体を追加購入するのではなく、Fusion Team のみを購入することでコストを抑制することができます。

## Fusion 360 – Team Participant

1ヶ月： ￥ 2,200

1年間： ￥16,500

3年間： ￥45,100

参考:Fusion 360 本体価格

1ヶ月： ￥ 7,700

1年間： ￥61,600

3年間： ￥166,100

The screenshot shows the Fusion 360 pricing interface. At the top, it says 'FUSION 360' and 'サブスクリプション (購入)'. Below this is a 'ゴーゴーサブスク キャンペーン' (Go Go Subscriptions Campaign) section. The main section is 'Fusion 360 - Team Participant', which includes a description of the team-based pricing model. Under 'バージョン' (Version), 'Fusion 360 - Team Participant' is selected. Under '期間' (Term), three options are shown: '1 カ月' (1 Month) for ¥2,200, '1 年間' (1 Year) for ¥16,500 (¥1,375 per month), and '3 年間' (3 Years) for ¥45,100 (¥1,253 per month). The 3-year option is marked as 'ベストバリュー' (Best Value).

FUSION 360

サブスクリプション (購入)

ゴーゴーサブスク キャンペーン  
旧バージョンの永久ライセンスのシリアル番号提出で新規サブスクリプションの1年または3年が最大25% オフでご購入いただけます。適用条件をご確認ください。

**Fusion 360 - Team Participant**  
チーム参加者向けです。あらゆるデバイスから設計プロジェクトの表示、共有、レビュー、マークアップが行えます。Team Participant は、データ管理機能とコラボレーション機能のみが含まれる、追加ユーザー向けバージョンです。Fusion 360 との機能比較はこちらをご覧ください。

バージョン  
☐ Fusion 360 ☒ Fusion 360 - Team Participant

期間

期間	価格	月額あたり
1 カ月	¥2,200	
1 年間	¥16,500	1ヶ月あたり ¥1,375
3 年間	¥45,100	1ヶ月あたり ¥1,253

ベストバリュー

※ 価格は2020年5月25日時点での情報です。最新価格はホームページからご確認ください。



# セキュリティ ホワイトペーパー

前のページでご案内した購入ページに「セキュリティ ホワイトペーパー」が掲載されています。オートデスクが提供するクラウドサービスのセキュリティ対策についてのポリシーなどが記載されておりますので、Fusion 360 本体のみをご使用の方も含めてご使用の際にはぜひ、ご一読ください。

[autodesk.co.jp](https://autodesk.co.jp) へアクセス

→ 検索窓に「セキュリティホワイトペーパー」と入力



→ “Autodesk Fusion 360 クラウドセキュリティホワイトペーパー” を

探してクリック

[Autodesk Fusion 360クラウドセキュリティホワイトペーパー](https://knowledge.autodesk.com/ja/search-result/caas/sfdcarticles/sfdcarticles/JPN/Autodesk-Fusion-360-White-Paper.html)

Autodesk Fusion 360クラウドセキュリティホワイトペーパー

<https://knowledge.autodesk.com/ja/search-result/caas/sfdcarticles/sfdcarticles/JPN/Autodesk-Fusion-360-White-Paper.html>

Autodesk® Fusion 360™ セキュリティ  
ホワイトペーパー



2018 年 12 月 28 日

# 購入前のお問合せ

製品デモのお問い合わせは、リクエスト フォームにご記入いただくか、  
下記までお電話ください。

Tel: 0800-080-4228 (フリーダイヤル)

<https://www.autodesk.co.jp/products/fusion-360/contact-me>



